SONY®

4-178-728-**01** (1)

Data Projector

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

VPL-FE40/FE40L
VPL-FX40/FX40L
VPL-FX41/FX41L
VPL-FW41/FW41L

機種の中には、国・地域によって販売されていないものがあります。
ソニーの相談窓口に確認してください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

注意事項をよくお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、使い方相談窓口にご相談ください（有料）。

故障したら使用を中止する

すぐに使い方相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

↓

❶ 電源を切る。
❷ 電源コードや接続コードを抜く。
❸ 使い方相談窓口に連絡する。

警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



目次

⚠ 警告 4
⚠ 注意 5
電池についての安全上のご注意 7
ランプについての安全上のご注意 7
設置・使用時のご注意 8

はじめに

付属の説明書について 11
本機の特長 12
各部の名前と働き 14
　天面／前面／側面 14
　後面／側面／底面 14
　コントロールパネル 15
　コネクターパネル 17
　リモートコマンダー 19

画像を映す

設置例 22
接続する 23
　コンピューターを接続する 23
　ビデオ機器を接続する 25
スクリーンに画像を映す 26
電源を切る 28

便利な使いかた

メニュー表示言語を切り換える 30
セキュリティロック 31
その他の機能 33
　ダイレクトパワーオン／オフ機能 33
　オフ＆ゴー機能 33
　プレゼンテーション機能 33
　コンピューターを別売のプレゼンテーションツール、RM-PJPK1から操作する（ネットワークプレゼンテーション機能使用時） 33

メニューで行う調整と設定

メニューの操作方法 35
画質設定メニュー 38
スクリーン設定メニュー 40
　プリセットメモリーナンバーについて 43
初期設定メニュー 44
機能設定メニュー 47
設置設定メニュー 49
情報メニュー 51

お手入れ

ランプを交換する 53
エアーフィルターをクリーニングする 55

その他

故障かな？と思ったら 57
　メッセージ一覧 61
保証書とアフターサービス 63
仕様 63
寸法図 72
索引 75

お客様へ

⚠警告

CD-ROMに収録された特約店様用設置説明書は、特約店様用に書かれたものです。

お客様が特約店様用設置説明書に記載された設置工事を行うと、事故などにより死亡や大けがにつながることがあります。お客様自身では、絶対に設置工事をしないでください。
設置については必ず使い方相談窓口にご相談ください。

⚠警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、火災や感電により、死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。
- 設置時に、製品と壁やラック（棚）などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、使い方相談窓口に交換をご相談ください。

付属の電源コードを使う

注意

取扱説明書に記されている電源コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

内部を開けない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理は使い方相談窓口にご相談ください。

レンズをのぞかない

禁止

投影中にプロジェクターのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、使い方相談窓口にご相談ください。

排気口、吸気口をふさがない

禁止

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。
風通しをよくするために次の項目をお守りください。
- 壁から30cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- 立てて使用しない。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プロジェクターの上に水が入ったものを置かない

禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

レンズ交換後はレバーを必ずロックする

指示

半ロックの状態に放置すると、レンズ落下により事故の原因となります。

電源プラグおよびコネクターは突きあたるまで差し込む

指示

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

安全アースを接続する

アース線を接続せよ

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

床置き、または天井つり金具を使った天井つり以外の設置をしない

禁止

それ以外の設置をすると火災や大けがの原因となることがあります。

天井への取り付け、移動は絶対に自分でやらない

禁止

天井への取り付けは必ず使い方相談窓口にご相談ください（有料）。天井の強度不足、取り付け方法が不充分のときは落下する危険があります。
必ずソニー製のプロジェクターサスペンションサポートをご使用ください。特約店の方は取り付けを安全に行うために、必ず本書、CD-ROM内の特約店様用設置説明書およびプロジェクターサスペンションサポートの取付説明書の注意事項をお読みください。

熱感知器や煙感知器のそばに設置しない

禁止

熱感知器や煙感知器のそばに設置すると、排気の熱などにより、感知器が誤動作するなど、思わぬ事故の原因となることがあります。

アースキャップやコネクターカバーは幼児の手の届かないところへ保管する

注意

お子様が誤って飲むと、窒息死する恐れがあります。
万一誤って飲み込まれた場合は、ただちに医者に相談してください。
特に小さなお子様にはご注意ください。

指定された部品を使用する

指示

指定以外の部品を使用すると、火災や感電および故障や事故の原因となります。ランプ、電池、レンズ、フィルタは指定されたものを使用してください。指定以外の部品を使用する場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

不安定な場所に設置しない

禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

電源コード / 接続ケーブルに足をひっかけない

注意

電源コードや接続ケーブルに足をひっかけると、プロジェクターが倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に置かない

水ぬれ禁止

水が入ったり、濡れたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない。

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

本機を立てて置かない

禁止

保管や、一時的に立てておくと倒れて思わぬ事故の原因になり危険です。

スプレー缶などの発火物や燃えやすいものを排気口やレンズの前に置かない。

禁止

火災の原因となることがあります。

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らない

禁止

遮光した物に熱による変形などの影響を与えることがあります。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因となります。

アジャスター調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

アジャスターの調整は慎重に行ってください。そうしないと、アジャスターに指を挟み、けがの原因となることがあります。

設置の際、本機と設置部分での指挟みに注意する

手を挟まれないよう注意

設置する際、本機と設置部分で指を挟まないように慎重に取り扱ってください。

レンズシフト調整時に指を挟まない

手を挟まれないよう注意

レンズと本体の間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。

排気口周辺には触れない

高温

排気口周辺はランプの熱で温度が高くなっています。手などを触れると火傷の原因となります。

定期的にエアーフィルターをクリーニングする

注意

ランプ交換に合わせて、必ずエアーフィルターのクリーニングをしてください。
クリーニングを怠るとフィルターにごみがたまり、内部に熱がこもって火災の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する

注意

長い間掃除をしないと内部にほこりがたまり、火災や感電の原因となることがあります。5 年に 1 度は、内部の掃除を使い方相談窓口にご依頼ください（有料）。
特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

運搬するときは必ず左右側面を両手で持つ

指示

運搬するときは、必ず左右側面を両手で持ってください。他の部分を持つとプロジェクターが壊れたり、落してけがをすることがあります。
床置きのプロジェクターを移動させるとき、本体と設置面との間に指を挟まないようご注意ください。

キャビネットのカバー類はしっかり固定する

指示

天吊りの場合、カバー類が固定されていないと落下して、けがの原因となることがあります。

製品の上にものを載せない

禁止

製品の上にものを載せると、故障や事故の原因となります。

⚠注意 電池についての安全上のご注意

ここでは、本機で使用可能な乾電池についての注意事項を記載しています。

⚠警告

- 機器の表示に合わせて ⊕ と ⊖ を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、過熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 水などで濡らさない。風呂場などの湿気の多い場所で使用しない。
- 液漏れした電池を使わない。
- 電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは本体から取り出す。

⚠注意

- 外装のチューブをはがしたり、傷つけない。
- 指定された種類の電池以外は使用しない。
- 火のそばや直射日光が当たるところ、炎天下の車中など、高温の場所で使用、保管、放置しない。

⚠注意 ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。高圧水銀ランプには、つぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などにより大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがある。
- 個体差や使用条件によって、寿命に大きなバラツキがある。指定の時間内であっても破裂、または不点灯状態になることがある。
- 交換時期を越えると、破裂の可能性が高くなる。
  「ランプを交換してください」というメッセージが表示されたときには、ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。

⚠警告


火災　感電

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

ランプ交換はランプが充分に冷えてから行う


高温

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となることがあります。ランプ交換の際は、**電源を切って、1時間以上**たって、充分にランプが冷えてから行ってください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

ランプが破裂したときはすぐに交換を依頼する


注意

ランプが破裂した際には、プロジェクター内部やランプハウス内にガラス片が飛散している可能性があります。**使い方相談窓口にランプの交換と内部の点検を依頼**してください。また、排気口よりガスや粉じんが出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれていますので、万が一吸い込んだり、目に入ったりした場合は、けがの原因となることがあります。

本機または使用済みランプを廃棄する場合

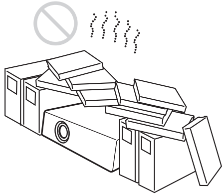
本機のランプの中には水銀が含まれています。
廃棄の際は、一般の廃棄物とは一緒にせず、地方自治体の条例または規則に従ってください。

設置・使用時のご注意

設置に適さない場所

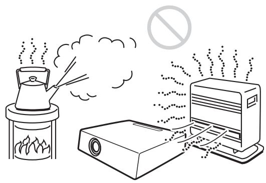
次のような場所には設置しないでください。本機の**故障や破損の原因**となります。

風通しが悪い場所



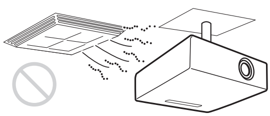
- 吸気口および排気口は、内部の温度上昇を防ぐためのものです。風通しの悪い場所を避け、通風口をふさがないように設置してください。
- 吸気口や排気口がふさがって、内部の温度が上昇すると、温度センサーが働き、「セット内部温度が高いです。1分後にランプオフします。」という警告メッセージが表示され、1分後に自動的に電源が切れます。
- 本機の周囲から30cm以内には物を置かないようにしてください。
- 吸気口には小さな紙などが吸い込まれやすいのでご注意ください。

温度や湿度が高い場所



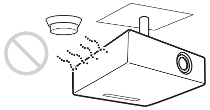
温度や湿度が非常に高い場所や温度が著しく低い場所での使用は避けてください。

空調の冷暖気が直接当たる場所



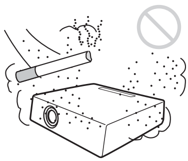
結露や異常温度上昇により、故障の原因となることがあります。

熱感知器や煙感知器のそば



感知器が誤動作する原因となることがあります。

ほこりが多い場所、たばこなどの煙が入る場所



ほこりの多い場所、たばこなどの煙が入る場所での使用は避けてください。この様な場所で使用するとエアフィルターがつまりやすくなったり、故障や破損の原因となります。また、エアフィルターの汚れは内部の温度が上昇する原因になるので定期的に掃除してください。

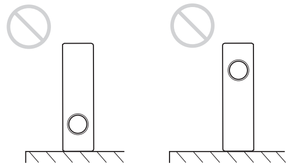
標高の高い場所で使用する場合

海抜 1500m 以上でのご使用に際しては、初期設定メニューの高地モードを「入」にしてください。そのままご使用になりますと、部品の信頼性などに影響を与える恐れがあります。

使用に適さない状態

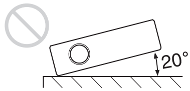
次のような状態では使用しないでください。

本機を立てて使用しない



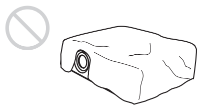
プロジェクターを立ててお使いになることは避けてください。故障の原因となります。

本機を左右に傾けない



プロジェクターを 20 度以上傾けたり、床置きおよび天つり以外の設置でお使いになることは避けてください。色むらやランプの寿命を著しく損ねる原因となることがあります。

吸排気口を覆わない



吸排気口をふさぐような覆いやカバーをしたり、毛足の長いじゅうたんなどの上では使用しないでください。吸排気口がふさがれると、内部の温度が上昇します。

レンズの前に遮蔽物を置かない

投影中にレンズのすぐ前で光を遮らないでください。遮光した物に熱による変形など影響を与える可能性があります。投影を一時的に中断するときには、ピクチャーミューティング機能をお使いください。

使用上のご注意

液晶プロジェクターについて

液晶プロジェクターは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現われたり、赤と青、緑の点が消えないことがあります。また、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合もあります。**これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。**
また、複数台の液晶プロジェクターを並べてスクリーンへ投射する場合、プロジェクターごとに色合いのバランスが異なるため、同一機種の組み合わせであってもそれぞれ色合いの違いが目立つ場合があります。

スクリーンについて

表面に凹凸のあるスクリーンを使用すると、本機とスクリーン間の距離やズーム倍率によって、まれに画面上に縞模様が現れる場合があります。これは本機の故障ではありません。

結露について

プロジェクターの設置してある**室内の急激な温度変化は結露を引き起こし、故障の原因**となりますので冷暖房にご注意ください。
結露とは、寒いところから急に暖かい場所へ持ち込んだとき、本体の内部に水滴がつくことです。**結露が起きたときは、電源を入れたまま本機をそのまま約 2 時間放置**しておいてください。

ファンの音について

プロジェクターの内部には温度上昇を防ぐためにファンが取り付けられており、電源を入れると多少音を生じます。これらは、液晶プロジェクターの構造によるもので、故障ではありません。しかし、異常音が発生した場合にはお買い上げ店にご相談ください。

部屋の照明について

直射日光や室内灯などで直接スクリーンを照らさないでください。美しく見やすい画像にするために、以下の点を参考にしてください。

- 集光形のダウンライトにする。
- 蛍光灯のような散光照明にはメッシュを使用する。
- 太陽の差し込む窓はカーテンやブラインドでさえぎる。
- 光を反射する床や壁はカーペットや壁紙でおおう。

お手入れについて

- キャビネットやパネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水でうすめた中性洗剤に柔らかい布をひたし、固くしぼってから汚れをふき取り、乾いた布で仕上げてください。なお、お手入れの際は必ず電源コードをコンセントから抜いてください。
- レンズに手を触れたり、固いもので傷をつけたりしないようにご注意ください。
- 必ず定期的にフィルターのクリーニングをしてください。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI-A

本機は「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。
アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。
ソニー推奨の電源コードセットをご使用下さい。

注意

± 20 度より大きい角度で設置する場合は、「特約店様用設置説明書」のご注意文をよくお読みください。

付属の説明書について

本機は、以下の説明書とソフトウェアを付属しています。
Macintosh では、取扱説明書と特約店様用設置説明書のみご覧いただけます。

説明書

安全のために（別冊）

本機を取り扱う際に事故を防ぐための重要な注意事項を記載しています。

簡易説明書（別冊）

本機を接続してから映すまでの、簡単な操作方法を説明しています。

取扱説明書（本書、CD-ROM に収録）

この説明書には本機の操作方法や接続のしかたが記載されています。

取扱説明書（ネットワーク編）（CD-ROM に収録）

ネットワークの設定と使用方法が記載されています。

特約店様用設置説明書（CD-ROM に収録）

別売レンズの取り付け方法や詳細な設置情報が記載されています。

ご注意

CD-ROM に収録されている取扱説明書などをご覧いただくには、コンピューターにソフトウェア Adobe Acrobat Reader 5.0 以上がインストールされている必要があります。

ソフトウェア（CD-ROM に収録）

Projector Station for Air Shot Version 2 （Version 2.xx）（日本語・英語のみ）

コンピューターの画像をプロジェクターへ転送するためのアプリケーションソフトウェアです。

本取扱説明書で、特に注記のない場合、FE40 は FE40/FE40L、FX40 は FX40/FX40L、FX41 は FX41/FX41L、FW41 は FW41/FW41L を指します。

本機の特長

高輝度・高画質

高輝度

新開発の無機配向膜を採用した新世代のLCDパネル"BrightEra"を搭載した、ソニー独自の光学システムにより、VPL-FE40/FX40で4000lm、VPL-FW41で4500lm、VPL-FX41で5200lmの明るい映像を再現できます。

高解像度

VPL-FE40は、147万画素のSXGA+のパネルを3枚採用し、1400 × 1050ピクセルの高精細な画像を映します。
VPL-FX40/FX41は、約79万画素のXGAのパネルを3枚採用し、1024 × 768ピクセルの画像を映します。
VPL-FW41は、約102万画素のWXGAのパネルを3枚採用し、1280 × 800ピクセルの画像を映します。

高画質

ダイナミック・ディテール・エンハンサー機能を搭載、インターレースのビデオ画像をプログレッシブに変換して精細な映像を再現します。また、映画ソフトなど2-3プルダウン方式の素材を忠実に再現します。さらに、12ビット3次元デジタルガンマ補正回路や3次元デジタルコムフィルターを採用、高画質化を図っています。

優れた設置性

電動ズーム / フォーカス / 水平・垂直シフト機能

1.3倍の電動ズーム、電動フォーカス、電動水平・垂直レンズシフト機能を標準装備。離れた所からも、リモートコマンダーで調整が可能です。
※ VPLL-1008は、手動フォーカス機能のみ
また、設置状況に合わせて、オプショナルレンズに交換することが可能です。
※ 標準レンズ付のFE40、FX40、FX41、FW41のみ

レンズセンター

レンズを本体の中心に配置、スクリーンセンターと一致し、設置しやすい構造になっています。

前後に傾けた設置に対応

本機を上方向、および、下方向に90度傾けての設置が可能です。ミラーを使用してのリア投影などに対応できます。

ダイレクトパワーオン / オフ機能

ブレーカーなどで、システム全体のAC電源を直接入れたり、切ったりすることが可能です。

ID機能

同じ部屋で複数台のプロジェクターを使用する場合、1台づつの調整や制御を可能にします。(最大3台まで)

容易なメンテナンス

ランプ交換は横から、フィルター掃除は前面から行うため、天吊状態でも容易に対応できます。フィルター掃除は、ランプ交換と同時に行ってください。

ネットワークによる状況監視、システム拡張

LANの環境に取り込むことにより、離れたところからWeb経由で、オン/オフといった制御や本機のランプの使用時間などの情報取得が可能です。
また、ランプの交換時期やエラー情報などをあらかじめ設定したアドレスにメールでお知らせするメールレポート機能を持ち、SNMPにも対応しています。

様々な入力信号に対応

HDMI、5BNC端子を装備

HDMI端子を装備、デジタルRGB機器と接続できます。さらに、高精細信号の接続や長距離伝送用に対応できる5BNC入力端子も装備しています。

対応入力信号

コンポジット、Sビデオ、コンポーネントのビデオ信号を初め、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+とUXGA（60Hz）信号まで表示することができます。

ネットワークプレゼンテーション

プロジェクターのNETWORK端子（RJ-45）にネットワークケーブルを接続することにより、有線/無線でLANに接続しているコンピューターの画像をプロジェクターに投影することが可能です。詳しくは、取扱説明書（ネットワーク編）をご覧ください。

その他、便利な機能

- プレゼンテーションを妨げない低ファンノイズ
- ツインスタック対応
- セキュリティロック
- パネルキーロック
- 入力がダイレクトに選択できる使いやすいリモートコマンダー
- 16言語に対応したオンスクリーンメニュー
- ピクチャー/オーディオミューティング
- フリーズ
- ランプモード切替
- スタンバイ時低消費電力

商標について

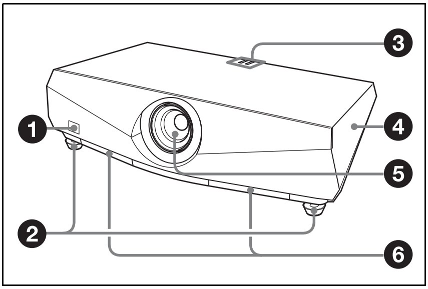
- Adobe AcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- KensingtonはKensington社の登録商標です。
- MacintoshはApple Inc.社の登録商標です。
- VESAはVideo Electronics Standard Associationの登録商標です。
- Display Data ChannelはVideo Electronics Standard Associationの商標です。
- HDMI、HDMIロゴおよびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLC社の商標または登録商標です。
- Air Shot（エアーショット）はソニー株式会社の商標です。
- “BrightEra”はソニー株式会社の商標

です。

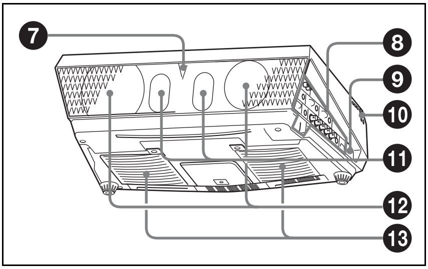
その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中で TM、® マークは明記しておりません。

各部の名前と働き

天面／前面／側面



後面／側面／底面



❶ 前面リモコン受光部

❷ アジャスター

アジャスターを左右に回して、投影された画像の傾きを微調整します。

❸ インジケーター

◆詳しくは、「コントロールパネル」(15 ページ)をご覧ください。

❹ ランプカバー

❺ レンズ

投影する前にレンズキャップをはずしてください。

VPL-FE40L、VPL-FX40L、VPL-FX41L、VPL-FW41L はレンズ別売です。

❻ エアーフィルターカバー

VPL-FX41/FW41 のエアフィルターは片側のみの装着になります。

ご注意

本機の性能を保持するために、**ランプ交換と合わせて必ずエアーフィルターのクリーニングを行ってください。**

◆詳しくは、「エアーフィルターをクリーニングする」(55 ページ)をご覧ください。

❼ 後部リモコン受光部

❽ コネクターパネル

◆詳しくは、「コネクターパネル」(17 ページ)をご覧ください。

❾ 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington 社製)などを取り付けることができます。

Kensington Web ページアドレス：

http://www.kensington.com/

❿ コントロールパネル

◆詳しくは、「コントロールパネル」(15 ページ)をご覧ください。

⓫ スピーカー

⓬ 排気口

⓭ 吸気口

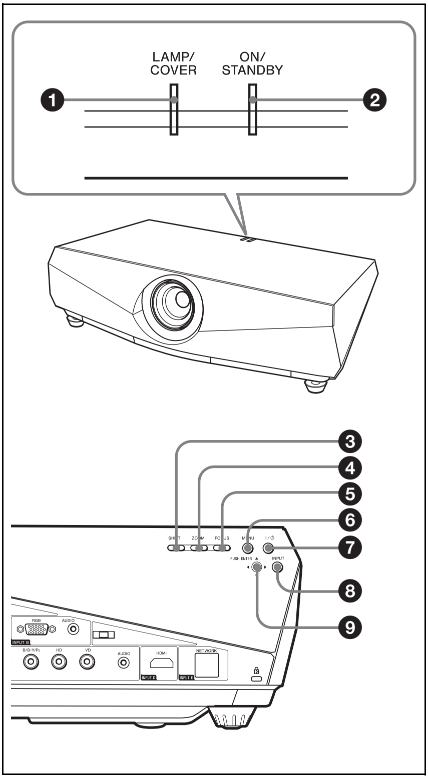
VPL-FX41/FW41 の吸気口は片側のみです。

排気口／吸気口について

⚠警告

- **排気･吸気口をふさがないでください。排気･吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。**
- **排気口に手を触れたり、近くに物を置かないでください。排気口は高温になるので、やけどや火災の原因となることがあります。**

コントロールパネル



❶ LAMP（ランプ）／COVER（カバー）インジケーター

以下の状態のとき、オレンジ色に点滅します。

2 回点滅のくり返し：ランプカバーがはずれているとき、またはエアーフィルターが正しく装着されていないとき。

3 回点滅のくり返し：ランプの交換時期がきたとき、またはランプの温度が高いとき。

◆詳しくは、「インジケーターに関する項目」（60 ページ）をご覧ください。

❷ ON/STANDBY（オン／スタンバイ）インジケーター

以下の状態のとき、点灯または点滅します。

赤色に点灯：電源コードをコンセントに差し込んだとき。この状態をスタンバイと呼び、I/⏻ キーで電源を入れることができます。

赤色に点滅：セット内部が高温、または故障したとき。

緑色に点灯：電源が入っているとき、操作可能な状態のとき。

緑色に点滅：本体に電源が入り、操作可能になるまでの間、および I/⏻ キーで電源を切った後の約 90 秒間。

オレンジ色に点灯：パワーセービング中です。

◆詳しくは、「電源を切る」（28 ページ）、「インジケーターに関する項目」（60 ページ）をご覧ください。

❸ SHIFT（シフト）キー

投射画面の垂直・水平位置を調整するときに選びます。次に、矢印キーを押して調整します。

▲ キーを押すと、画面が上に移動します。▼ キーを押すと、画面が下に移動します。▶ キーを押すと、画面が右に移動します。◀ キーを押すと、画面が左に移動します。

ご注意

別売りアクセサリーの VPLL-1008 ご使用時は、特約店様によりスクリーンの中心位置とレンズの中心位置とを合わせて設置してありますので、設置後にシフト操作をしないでください。シフト操作をすると画が欠ける場合があります。

❹ ZOOM（ズーム）キー

画像の大きさを調整するときに選びます。次に、矢印キーを押して調整します。

▲ または ▶ キーを押すと、画像が大きくなります。▼ または ◀ キーを押すと、画像が小さくなります。

❺ FOCUS（フォーカス）キー

フォーカスを調整するときに選びます。次に、矢印キーを押して調整します。

▲ または ▶ キーを押すと、遠い側にフォーカスが合うようになります。

▼ または ◀ キーを押すと、近い側にフォーカスが合うようになります。

◆ZOOM、FOCUS キーは別売の VPLL-1008 を取り付けたときは使えません。

❻ MENU（メニュー）キー

メニューを画面に表示したいときに押します。もう 1 度押すとメニューは消えます。

❼ I/⏻（オン／スタンバイ）キー

本体がスタンバイ状態のときに押すと、本体の電源が入り、操作可能状態になるまでの間、ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅した後、点灯します。
電源を切るときは、画面の表示に従って、I/⏻ キーを 2 度押すか、約 1 秒間押したままにしてください。

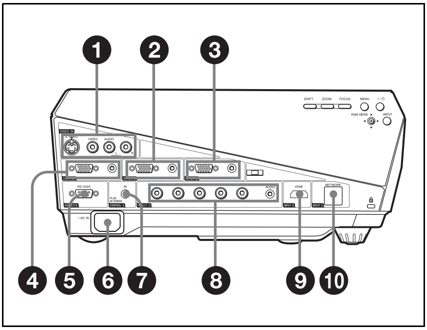
❽ INPUT（入力選択）キー

入力信号を選びます。押すたびに信号が切り換わります。

❾ ENTER（確定）／ ▲/▼/◀/▶（矢印）キー

メニューの設定項目を確定するとき、メニューに表示されるカーソルを動かすとき、メニュー項目の数値を変えるときに使います。

コネクターパネル



❶ VIDEO IN（ビデオ入力）

ビデオ機器などの映像／音声を入力します。

S VIDEO （S 映像）端子（ミニ DIN4 ピン）：
ビデオ機器などの S 映像出力端子と接続します。

VIDEO（映像）端子（ピンジャック）：
ビデオ機器などの映像出力端子と接続します。

AUDIO（音声入力）L（MONO)/R 端子（ピンジャック）：
ビデオ機器などの音声を聞くとき、ビデオ機器などの音声出力端子と接続します。ステレオの場合は、L と R の両方に接続してください。モノラル機器の場合は、L（MONO）のみに接続してください。

❷/❸ INPUT A（入力 A）/INPUT B（入力 B）

アナログ RGB 端子（HD D-sub 15 ピン、凹）：
コンピューターの映像を入力します。
コンピューターのモニター出力端子に別売のケーブルで接続します。

AUDIO（音声入力）端子（ステレオミニジャック）：
コンピューターからの音声を聞くときは、コンピューターの音声出力端子と接続します。

◆詳しくは、「コンピューターを接続する」（23 ページ）、「ビデオ機器を接続する」（25 ページ）をご覧ください。

❹ OUTPUT（出力）

MONITOR（モニター）端子（HD D-sub 15 ピン、凹）：
モニターの入力端子に接続します。
INPUT A、INPUT B、または INPUT C 端子に接続された信号のうち、現在選ばれているチャンネルでかつコンピューター信号のみを出力します。INPUT D 端子に接続された信号は出力されません。

AUDIO（音声）端子（ステレオミニジャック）：
アクティブスピーカーに接続します。リモートコマンダーの VOLUME + / −キーで音量を調整できます。
INPUT A、B または C が選ばれているときは、INPUT A、B または C の AUDIO 端子に入力された音声が出力されます。
VIDEO または S VIDEO が選ばれているときは、VIDEO IN の AUDIO 入力端子に入力された音声が出力されます。

❺ REMOTE

RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）
コンピューターから本機を操作するときに、コンピューターのコントロール用の端子と接続します。

❻ AC IN（電源コンセント）

付属の電源コードを接続します。

❼ CONTROL S IN（コントロール S 信号入力）／ PLUG IN POWER（DC 5V）端子（ステレオミニジャック）

コントロール S 出力端子のあるソニー製品に接続します。付属のリモートコマンダーの CONTROL S OUT 端子と接続すると、ワイヤードリモートコマンダーとして使用することができます。このとき、ステレオケーブルを使用すると電源は本体から供給されるので、電池を入れる必要はありません。

❽ INPUT C（入力 C）

アナログ RGB/ コンポーネント端子（R/R-Y/PR、G/Y、B/B-Y/PB、HD、VD）（BNC 型）：
プロジェクターを天つりで使用するときなど信号の長距離伝送が必要な場合は、この端子を使用することをお勧めします。
コンピューター信号、コンポーネント（R-Y/Y/B-Y）信号、HDTV または DTV（DTV GBR、DTV YPBPR）を入力することができます。

AUDIO（音声入力）端子（ステレオミニジャック）：
コンピューターなどの音声出力端子と接続します。

❾ INPUT D（入力 D）

デジタル RGB/ コンポーネント端子（HDMI、HDCP 対応）
HDMI/DVI 出力端子（デジタル）を持つビデオ機器やコンピューターの映像出力端子に接続します。

❿ INPUT E（入力 E）

NETWORK 端子（RJ-45）

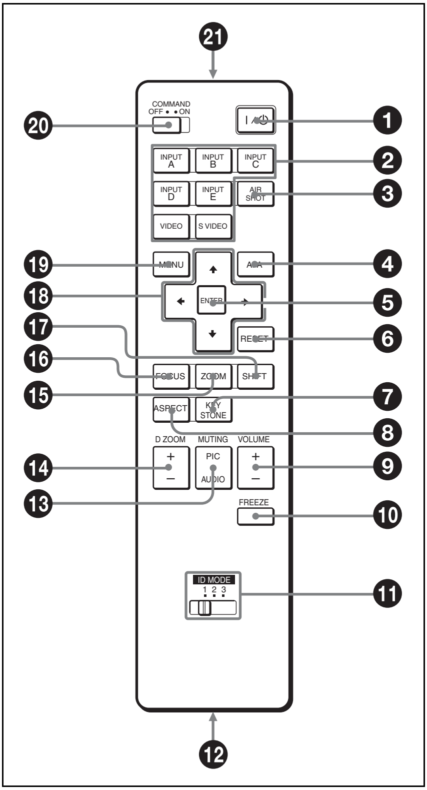
本機のネットワーク機能を使うとき、LAN ケーブルで接続します。

ご注意

安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。
接続については本書の指示に従ってください。

リモートコマンダー

本体のコントロールパネルと同じ名前のキーは本体と同じ働きをします。



❶ I/⏻（オン／スタンバイ）キー

❷ INPUT（入力選択）A/B/C/D/E キー

ボタン名と同じ名前の端子に接続した機器の映像を選択するとき使います。

❸ AIR SHOT（エアーショット）キー

ネットワークプレゼンテーションのホーム画面を表示します。

◆詳しくは、CD-ROM 内の「取扱説明書（ネットワーク編）」をご覧ください。

❹ APA（Auto Pixel Alignment）キー

コンピュータ信号入力時に、画像をくっきり見えるように自動調整する機能です。

◆詳しくは、スクリーン設定メニューの「APA」（42 ページ）をご覧ください。

❺ ENTER（確定）キー

❻ RESET（リセット）キー

メニューをリセットしたり、調整した項目の調整値を初期設定状態に戻すとき使います。
項目を調整中（画面に表示中）に働きます。

❼ KEYSTONE （垂直台形補正）キー

本機の垂直台形歪み補正を手動で調整するときに使います。押すと、V キーストーン（垂直台形歪み補正）調整メニューが表示されます。⬆/⬇/⬅/➡ キーを使って調整します。

❽ ASPECT（アスペクト）キー

投影する画面のアスペクト（縦横比）を選びます。
押すたびに、映像入力信号に合わせてアスペクト設定が切り換わります。

❾ VOLUME（音量）+ / −キー

❿ FREEZE （フリーズ）キー

投影している画面を静止させます。解除するには、もう 1 度押します。

⓫ ID MODE 1/2/3（ID モード 1、2、3）キー

複数台のプロジェクターを使用する場合、リモートコマンダーとプロジェクターに同じ ID 番号をつけておくと、リモートコマンダーから各プロジェクターの調整や制御を可能にします。

◆「ID モード」について詳しくは、50 ページをご覧ください。

⓬ CONTROL S OUT（コントロール S 出力）端子（ステレオミニジャック）

ワイヤードリモートコマンダーとして使う場合に、本体の CONTROL S IN 端子とつなぎます。リモコンケーブル（ステレオタイプ）で接続しているときは、プロジェクターからリモコン用の電源が供給されます。

⓭ MUTING（ミューティング）キー

映像や音声を一時的に消すときに使います。

PIC（映像）：映像を一時的に消すときに押します。もう一度押すと、解除されます。

AUDIO（音声）：スピーカーから出力される音声と、OUTPUT の AUDIO 端子から出力信号を一時的に消すときに押します。解除するには、もう一度押すか、VOLUME +キーを押して音量を上げてください。

⓮ D ZOOM（デジタルズーム）+ / −キー

本機では使用しません。

⓯ ZOOM（ズーム）キー

画像の大きさ（ズーム）を調整します。

⓰ FOCUS（フォーカス）キー

画像のフォーカスを調整します。

⓱ SHIFT（シフト）キー

画像の垂直・水平位置を調整します。

⓲ ↑/↓/←/→（矢印）キー

メニュー、ズーム、フォーカス、シフト調整時に使います。

⓳ MENU（メニュー）キー

⓴ COMMAND ON/OFF（コマンダー入／切）スイッチ

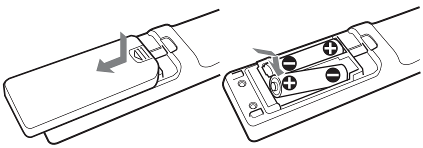
このスイッチを OFF にすると、リモートコマンダーのキーがすべて働

かなくなります。使わないときにOFFにしておくと、電池の消耗を防ぐことができます。

㉑ リモートコマンダー発光部

電池の入れかた

1 ふたをはずし、⊕と⊖の方向を確認して単3形(R6)乾電池2個(付属)を入れる。



2 ふたを閉める。

電池についての安全上のご注意

⚠警告

「安全のために」の「電池についての安全上のご注意」をよくお読みください。リモートコマンダーが正常に働かない場合は、電池を交換してください。

リモートコマンダーのご注意

・リモートコマンダーと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがありますので、本機の前後にあるリモコン受光部に向けてリモートコマンダーを操作してください。

・リモートコマンダーで操作できる範囲は限られています。本体に近いほど、操作が可能な角度が広がります。

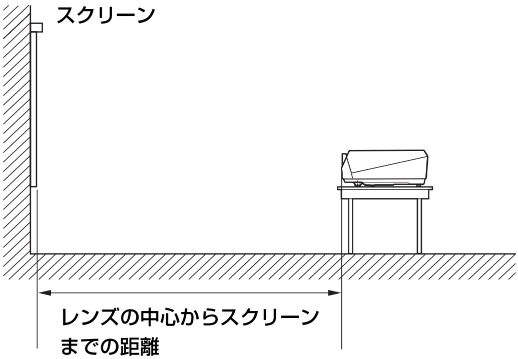
注意

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。
必ず指定の電池に交換してください。
使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

設置例

下の表は VPL-FE40/FX40/FX41/FW41 に付属の標準レンズを装着した時の設置例です。詳細な設置寸法や天井つり、別売レンズをご使用の場合には、特約店様用設置説明書をご覧ください。

レンズの中心からスクリーンまでの距離はスクリーンサイズによって変わります。下の表の最小距離と最大距離の範囲で設置してください。



VPL-FE40/FX40/FX41

（VPL-FE40 は SXGA+ 入力時、VPL-FX40/FX41 は XGA 入力時）

単位：m

スクリーンサイズ		40	60	80	100	120	150	200	300	400	500	600
ss（型）	mm	1,016	1,524	2,032	2,540	3,048	3,810	5,080	7,620	10,160	12,700	15,240
距離	最小	1.5	2.3	3.0	3.8	4.6	5.7	7.7	11.6	15.4	19.3	23.2
	最大	1.9	2.9	3.9	4.8	5.8	7.3	9.7	14.6	19.5	24.4	29.4

（設計値のため多少の誤差があります。）

VPL-FW41

（スクリーン設定メニューの「アスペクト」が「フル 2」または「フル」のとき）

単位：m

スクリーンサイズ		40	60	80	100	120	150	200	300	400	500	600
ss（型）	mm	1,016	1,524	2,032	2,540	3,048	3,810	5,080	7,620	10,160	12,700	15,240
距離	最小	1.6	2.4	3.2	4.0	4.8	6.0	8.1	12.1	16.2	20.2	24.3
	最大	2.0	3.0	4.1	5.1	6.1	7.7	10.2	15.4	20.5	25.7	30.8

（設計値のため多少の誤差があります。）

◆設置方法など詳しくは、別冊の特約店様用設置説明書をご覧ください。

接続する

接続するときは

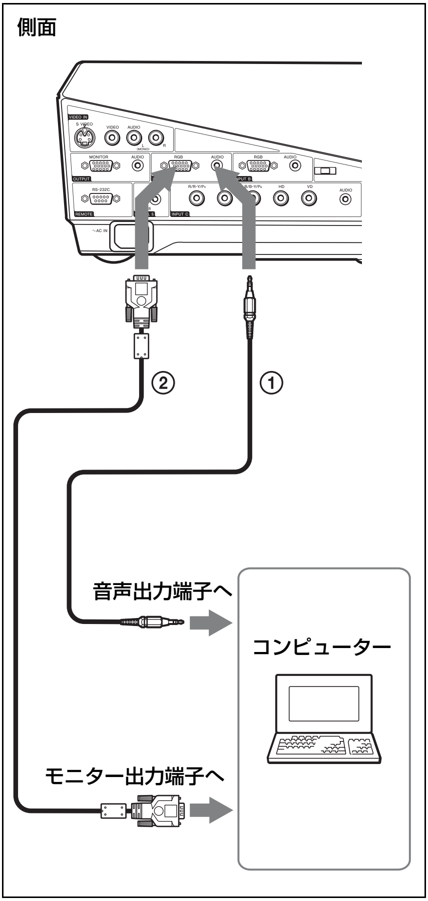
・各機器の電源を切った状態で接続してください。
・接続ケーブルは、それぞれの端子の形状に合った正しいものを選んでください。
・プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は画像の乱れや雑音の原因になります。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。

◆NETWORK 端子にネットワークケーブルを接続して LAN に接続する場合は、CD-ROM 内の「取扱説明書（ネットワーク編）」をご覧ください。

コンピューターを接続する

ここではコンピューターを本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

コンピューター（アナログ）を接続する場合



① ステレオオーディオ接続ケーブル（別売）（抵抗なしのものをお使いください。）
② HD D-sub 15 ピンケーブル（別売）

ご注意

・本機は、VGA、SVGA、XGA、WXGA、SXGA、SXGA+ 、UXGA 信号に対応していますが、接続するコンピューターの外部モニターの出力信号を次のように設定することをお勧めします。
VPL-FE40：SXGA+
VPL-FX40/FX41：XGA

VPL-FW41：WXGA

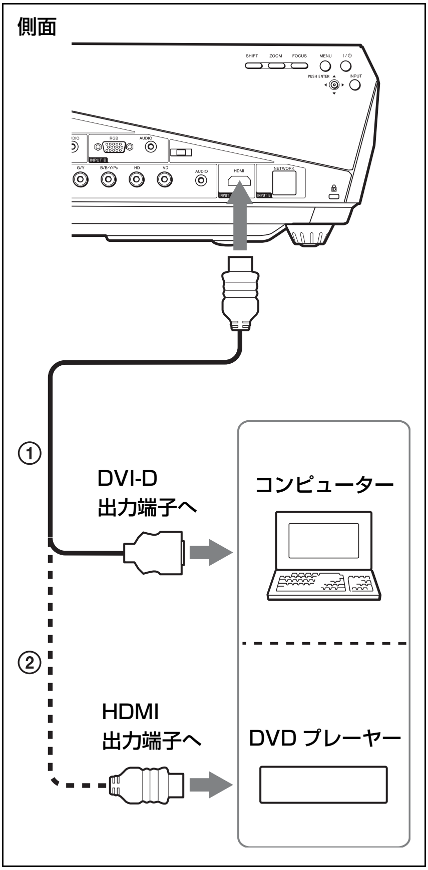
・ノート型のコンピューターなどで、出力信号をコンピューターの液晶ディスプレイと外部モニターの両方に出力するように設定すると、外部モニターに正しく映像が出ない場合があります。この場合は、外部モニターにのみ信号が出力されるように、コンピューターを設定してください。

◆詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

Macintosh で出力端子のピン配列が 2 列タイプのものを接続する場合は、市販のアダプターをご使用ください。

コンピューター（デジタル）やビデオ機器（デジタル）を接続する場合



① HDMI-DVI-D ケーブル（別売）
② HDMI ケーブル（別売）

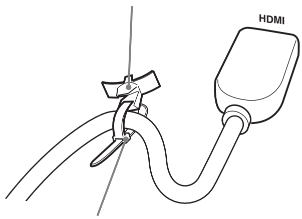
ご注意

HDMI ケーブルは、HDMI ロゴの付いたケーブルをご使用ください。

◆本機の HDMI 端子は、DSD（Direct Stream Digital）信号と CEC (Consumer Electronics Control) 信号には対応していません。

HDMI ケーブルを固定したい場合は

HDMI 端子の横にあるケーブルタイホルダーに市販のケーブルタイなどを利用し、図のように固定してください。

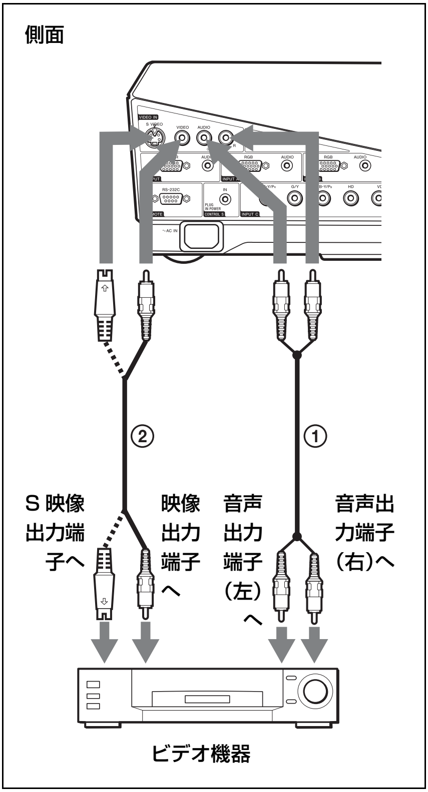


ケーブルタイは、太さが 1.9 ミリ× 3.8 ミリ以下のものを用意してください。

ビデオ機器を接続する

ここではビデオ機器を本機に接続する方法を説明します。
接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

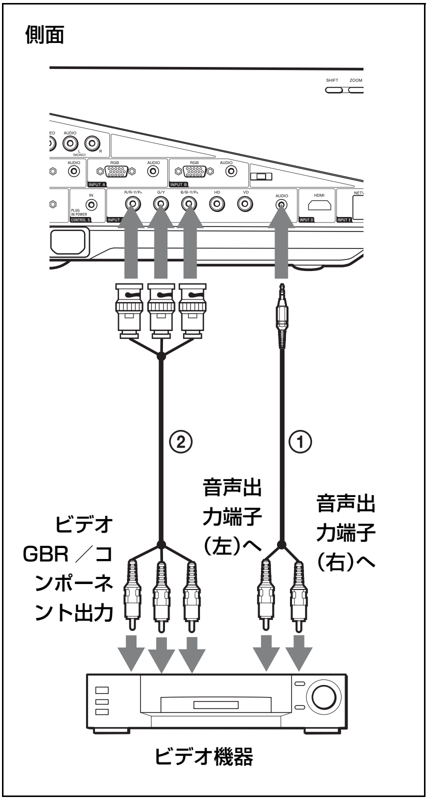
映像出力、S 映像出力端子に接続する場合



① オーディオ接続ケーブル（別売）
ステレオの場合は L と R の両方に接続してください。
モノラル機器の場合は、L（MONO）のみに接続してください。

② ビデオ接続ケーブル（別売）または S ビデオ接続ケーブル（別売）

ビデオ GBR ／コンポーネントの出力端子に接続する場合

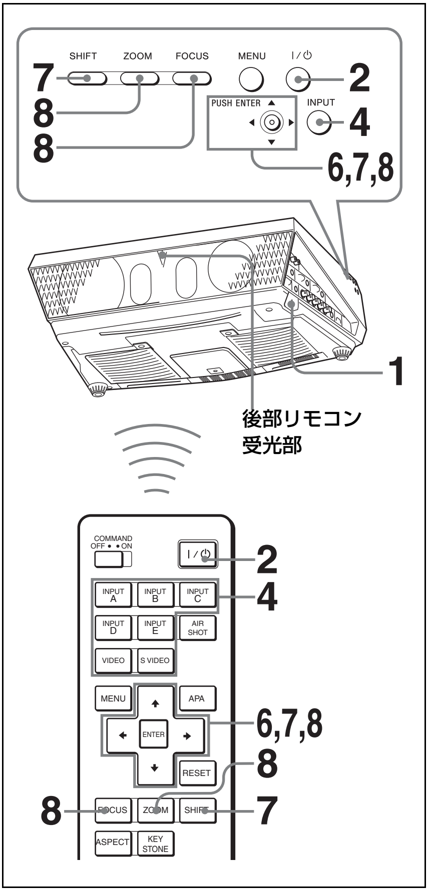


① ステレオオーディオ接続ケーブル（別売）（抵抗なしのものをお使いください。）
② BNC ケーブル（別売）

ご注意

入力する信号に応じて、スクリーン設定メニューの「アスペクト」を設定してください。

スクリーンに画像を映す



1 電源コードをコンセントに差し込み、各機器の接続をする。

ON/STANDBY インジケーターが赤色に点灯し、スタンバイ状態になります。

2 I/⏻ キーを押して、電源を入れる。

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅した後、点灯します。

3 接続した機器の電源を入れる。

4 INPUT キーを押して投影する映像を選ぶ。

リモートコマンダーの INPUT A/B/C/D/E キーのいずれかを押すと、ダイレクトに投影する映像を選べます。

コントロールパネルの INPUT キーは、押すたびに映像が以下のように切り換わります。

入力 A →入力 B →入力 C →入力 D

S ビデオ←ビデオ←入力 E

投影する映像	画面の表示
コンピューター（入力 A 端子につないだ機器の映像）	入力 A
コンピューター（入力 B 端子につないだ機器の映像）	入力 B
コンピューター / ビデオ機器など（入力 C 端子につないだ機器の映像）	入力 C
コンピューター / ビデオ機器など（入力 D 端子（デジタル）につないだ機器の映像）	入力 D
コンピューター（ネットワークプレゼンテーション機能を使用するために LAN に接続した機器の映像）	入力 E
ビデオ機器（VIDEO 端子につないだ機器の映像）	ビデオ
ビデオ機器（S VIDEO 端子につないだ機器の映像）	S ビデオ

スマート APA（Auto Pixel Alignment）が働き、接続されている機器の画像をくっきりと調整します。

ご注意

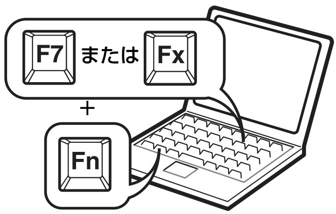
・オート入力サーチが「入」に設定されていると、接続されている機器の信号を自動的にサーチし、入力信号のあるチャンネルを表示します。

◆詳しくは、機能設定メニューの「オート入力サーチ」（47 ページ）をご覧ください。

・スマート APA は、アナログコンピューター信号入力時にのみ働きます。（デジタルコンピューター信号では動作しません。）

5 接続した機器の映像信号の出力先を切り換える。

ノートタイプやモニター一体型のコンピューターを接続したときには、キー（LCD/VGA、▢/▣ など）や設定によって映像信号の出力先を切り換える必要のあるものがあります。



ご注意

コンピューターの種類によって、切り

画像を映す

換えのキーが異なります。

6 **画像の上下左右の位置を調整する。**

SHIFT キーを押して ↑/↓/←/→ キーで位置を調整します。

7 **画像の大きさとフォーカスを調整する。**

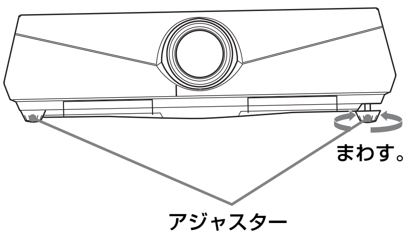
FOCUS キーを押して ↑/↓/←/→ キーでフォーカスを調整し、ZOOM キーを押して ↑/↓/←/→ キーで画面の大きさを合わせます。

ご注意

VPLL-1008 にはズーム機能はありません。また、フォーカスはレンズリングを回して調整してください。

アジャスターを調整するには

プロジェクターを置く台などが水平でない場合は、アジャスターを使って調整できます。



⚠注意

・アジャスターを調整するときは、手をはさまないようにしてください。
・アジャスターを出した状態で、本機を上から強く押さえないでください。故障の原因になります。

電源を切る

1 **I/⏻ キーを押す。**

「パワーオフしますか？もう一度 I/⏻ キーを押してください。」というメッセージが表示されます。

ご注意

確認のメッセージは I/⏻ キー以外のキーを押すか、約 5 秒間何もキーを押さないと消えます。

2 **I/⏻ キーをもう一度押す。**

ON/STANDBY インジケーターが緑色に点滅し、本機内部の温度を下げるために、ファンが回り続けます。はじめは早い間隔で点滅します。この間は再び I/⏻ キーを押しても、ランプは点灯しません。

3 **ファンが止まり、ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯するのを確認してから、電源コードを抜く。（ダイレクトパワーオン／オフ機能、オフ＆ゴー機能使用時を除く）**

画面のメッセージを確認できない場合は

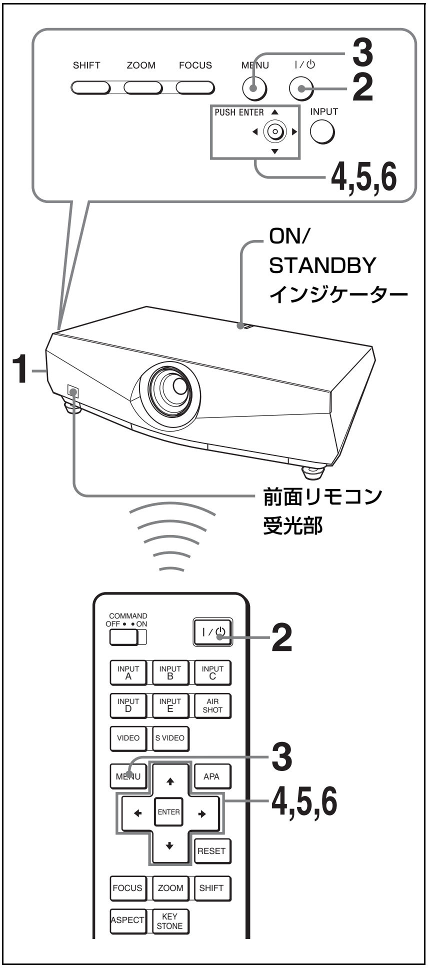
状況により画面のメッセージを確認できない場合は、手順 **1**、**2** の操作の代わりに I/⏻ キーを約 1 秒押したままにしても電源を切ることができます。

ご注意

オフ＆ゴー機能およびダイレクトパワーオン／オフ機能の内蔵回路により、I/⏻キーで電源を切り ON/STANDBY インジケーターが赤色に変わってからも、しばらくの間ファンが稼動していることがあります。

メニュー表示言語を切り換える

メニュー画面やメッセージの表示言語を 16 言語の中から選ぶことができます。お買い上げ時は「English」（英語）に設定されています。表示言語を変更したいときは、以下の手順で変更します。

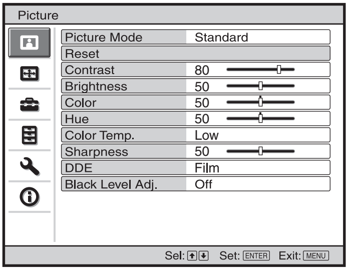


1 電源コードをコンセントに差し込む。

2 I/⏻ キーを押して、電源を入れる。

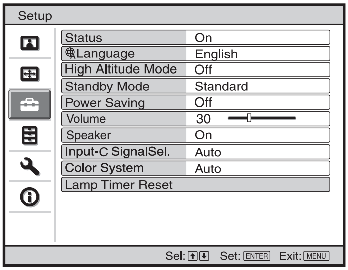
3 MENU キーを押す。

メニュー選択画面が表示されます。現在選択されているメニューが黄色いボタンで表示されます。

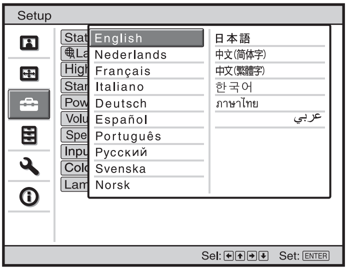


4 ⬆ または ⬇ キーを押して （Setup）（初期設定）メニューを選び、➡ または ENTER キーを押す。

選んだメニューの設定項目が表示されます。



5 ⬆または⬇キーを押して「Language」（表示言語）を選び、➡または ENTER キーを押す。



6 ⬆、➡、⬅、⬇キーを押して表示させたい言語を選び、ENTER キーを押す。

画面表示が、選んだ言語に切り換わります。

メニュー画面を消すには

MENU キーを押す。

約 1 分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

セキュリティロック

本機は、セキュリティロック機能を搭載しています。電源を入れると事前に設定してあるパスワードの入力を要求し、正しいパスワードを入力しないと映像を投影できません。

ご注意

- セキュリティロックを有効にした場合、電源コードを抜き挿しした後で電源を入れた時にのみパスワードの入力が求められます。
- パスワードを忘れてしまったり、パスワード管理者が不在の場合、本機を使用することができなくなります。この機能をご使用の場合はあらかじめ以上のことをご承知のうえお使いください。

セキュリティロックをかけるには

1 MENU キーを押して機能設定メニューの「セキュリティロック」を「入」にする。

2 パスワードを入力する。

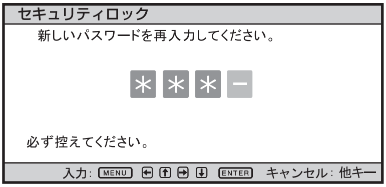
MENU、⬆/⬇/⬅/➡、ENTER の 6 つのキーを使用して 4 桁のパスワードを入力してください。
（出荷時には“ENTER, ENTER, ENTER, ENTER”が設定されていますので、初回使用時には ENTER を 4 回入力してください。）



次に新しいパスワードの入力画面が表示されます。
（現在のパスワードと同じで良い場合でも、ここで入力してください。）
パスワードを入力画面に入れる。



3　確認の為もう一度パスワードを入力する。



「セキュリティロックが有効になりました」というメッセージが表示されたら完了です。

「パスワードが違います！」というメッセージがメニュー画面に表示された場合は、手順 **1** からやり直してください。

4　設定完了後に本機の電源を切り、電源コードを抜き設定を有効にする。

セキュリティロックが有効となり、次に電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されます。

セキュリティ認証

パスワードの入力画面が表示されたら、設定されているパスワードを入力してください。パスワードの入力に３回続けて失敗すると、これ以降の操作ができません。その場合、I/⏻ キーを押し、電源を切ってください。

セキュリティロックを解除するには

1　MENU キーを押して機能設定メニューの「セキュリティロック」を「切」にする。

2　パスワードを入力する。

設定してあるパスワードを入力してください。

ご注意

パスワードを忘れてしまったため使い方相談窓口へお問い合わせをするときは、シリアル番号とお客様の確認が必要になります（国／地域によって異なります）。お客様の確認ができるとパスワードをご案内致します。

その他の機能

ダイレクトパワーオン／オフ機能

ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合はダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。スタンバイ状態を経ずに電源のオン／オフができます。電源オフ後も、内蔵回路によりファンが一定時間自動的に稼働します。

ご注意

VPL-FX41/FW41 はファンが回りません。しかし、ダイレクトパワーオン／オフ機能は変わりません。

オフ & ゴー機能

会議室などをすぐに移動するような場合には、電源を切り、すぐ電源コードを抜いても問題ありません。内蔵回路によりファンが一定時間自動的に稼動します。

ご注意

・VPL-FX41/FW41 はファンが回りません。しかし、オフ&ゴー機能は変わりません。
・本機能は 15 分以上の通電が必要です。通電時間が短い場合には、充電不足のためファンが充分に回らないことがあります。通電時間が短い場合は、パワーオフ後に ON/STANDBY インジケーターが赤く点灯するのを確認してから電源コードを抜いてください。（VPL-FX41/FW41 を除く）
・パワーオフしてすぐにパワーオンすると、ランプが点灯しにくい場合があります。

プレゼンテーション機能

投影している画面を静止させる（フリーズ機能）

リモートコマンダーの FREEZE キーを押すと、投影している画面を静止させて表示することができます。キーが押されると、画面に「フリーズ」と表示されます。この機能はコンピューターからの信号を入力しているときに働きます。
元の画面に戻すには、FREEZE キーをもう一度押します。

コンピューターを別売のプレゼンテーションツール、RM-PJPK1 から操作する（ネットワークプレゼンテーション機能使用時）

ネットワークプレゼンテーション機能を使用して、コンピューターの画面をプロジェクターへ投射している場合、別売のアクセサリーのプレゼンテーションツールから一部のスライドショー操作が可能です。

キー	機能
LASER	レーザーを発光 *
⇦ SLIDE ⇨	スライドショーのページ送り／戻し
B	スライドショー時、黒画面の表示／解除

* ネットワークプレゼンテーション機能を使用していない場合でも使用可能。

便利な使いかた

ご注意

- プレゼンテーションツールと本体のリモコン受光部の間に障害物があると、操作できないことがあります。
- ご使用になるパソコンのOSの言語によっては、Bキーを押しても黒画面にならないことがあります。
- プレゼンテーションツールを使うには、設置設定メニューの「IDモード」を「オール」または「1」に設定してください。

メニューの操作方法

本機では、入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。選んだ調整／設定項目によって、ポップアップメニューで表示されるもの、メニュー画面を消して設定メニューや調整メニューで表示されるもの、次の階層に表示されるものがあります。項目名の後ろに矢印（▶）が付いた項目を選ぶと、次の階層に設定できる項目が表示されます。

◆表示言語を切り換えるには、「メニュー表示言語を切り換える」（30 ページ）をご覧ください。

画面に表示される項目について

入力信号表示

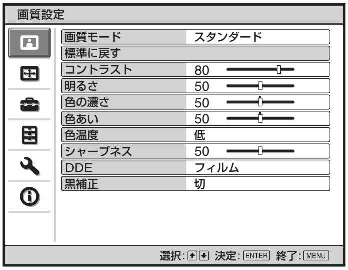


入力信号表示

選択されている入力チャンネルを表示します。信号が入力されていないときは x⊖ 表示になります。初期設定メニューの「画面表示」で非表示にすることもできます。

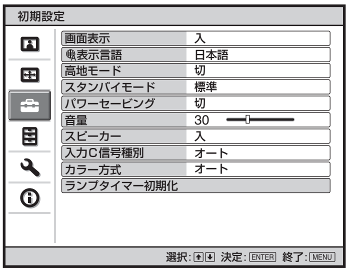
1 MENU キーを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 ↑または↓キーを押してメニュー項目を選び、➡ または ENTER キーを押す。

調整／設定できる項目が表示され、現在選ばれている項目が黄色で表示されます。



3 ↑または↓キーを押して設定したい項目を選び、➡ または ENTER キーを押す。

設定できる項目が、ポップアップメニュー、設定メニュー、調整メニューまたは次の階層に表示されます。

ポップアップメニュー

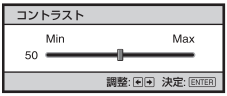
設定できる項目



設定メニュー

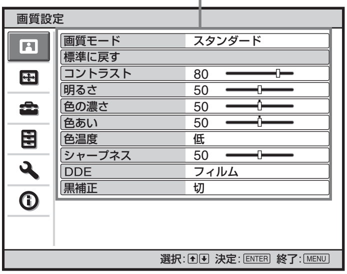


調整メニュー



次の階層に表示された画面

設定できる項目



4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、↑または→キーを押す。

数値を小さくするときは、↓または←キーを押す。

ENTERキーを押すと設定が確定し、元の画面に戻ります。

設定を変更する項目を選ぶ場合：

↑または↓キーを押して設定を選ぶ。ENTERボタンを押すと元の画面に戻ります。ただし設定によっては←ボタンでも元の画面に戻ります。

メニュー画面を消す

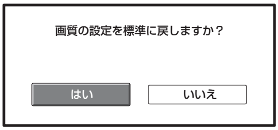
MENUキーを押す。

約1分間操作をしない場合もメニューは自動的に消えます。

設定値をリセットする

設定値をリセットするには、以下の2つの方法があります。

・画質設定メニューから「標準に戻す」を選択する。



画面表示されたら「はい」を選択する。以下の項目がまとめてお買い上げ時の値に戻ります。画質設定メニューの「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「色温度」、「シャープネス」、「DDE」、「黒補正」および「ガンマモード」

・リモートコマンダーのRESETキーを押す。

項目を調整中（画面に表示中）にRESETキーを押すと、お買い上げ時の値に戻ります。

調整できない項目について

入力する信号の種類によって、調整／設定できる項目が限られます。調整／設定できない項目はメニューに表示されません。

◆詳しくは、52 ページをご覧ください。

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

入力信号がない場合

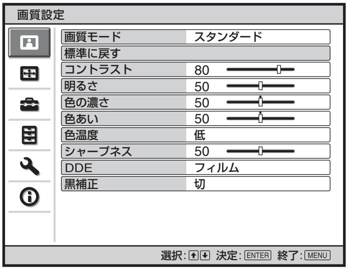
入力信号がない場合は、「この項目は調整できません。」というメッセージが表示されます。

画質設定メニュー

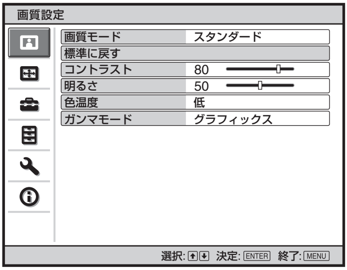
画質を調整するメニューです。
メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。

◆詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」（51 ページ）をご覧ください。

ビデオ信号を入力しているとき



コンピューター信号を入力しているとき



設定項目	機能	初期設定値
画質モード	画質モードを選びます。 ・**ダイナミック：**明暗のはっきりしたメリハリのある自然な画質になります。 ・**スタンダード：**通常はスタンダードに設定されています。また、「ダイナミック」で画面にザラツキ感があるとき、ざらつきを抑えた画質になります。	スタンダード
標準に戻す	選ばれている画質モードのコントラスト以下の設定値をお買い上げ時の値に戻します。	−
コントラスト	映像の明るい方（白レベル）を調整します。 設定値が大きくなるとコントラストが強くなり、小さくなると弱くなります。	80
明るさ	映像の明るさ（輝度）を調整します。 設定値が大きくなると明るくなり、小さくなると暗くなります。	50
色の濃さ	色の濃さを表す彩度を調整します。 設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。	50

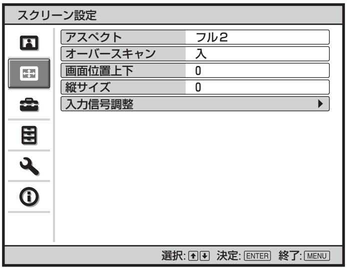
設定項目	機能	初期設定値
色あい	色あいを調整します。 設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると赤みがかります。	50
色温度	色温度を調整します。 ・**高：**白い部分が青みがかった冷たい色調になります。 ・**低：**白い部分が赤みがかった暖かい色調になります。	低
シャープネス	映像の輪郭をはっきりさせたり、ノイズを目立たなくさせたりします。 設定値が大きくなると輪郭がくっきりし、小さくなると柔らかくなりノイズを目立ちにくくできます。	50
DDE （ダイナミックディテイルエンハンサー）	映像の素材にあわせて、再生する方法を設定します。 ・**フィルム：**通常はこの位置にします。映画ソフトなど 2-3 プルダウン方式の素材を滑らかな動きで再現します。また、2-3 プルダウン方式以外の素材の場合は、自動的に「プログレッシブ」に切り換えて再生します。 ・**プログレッシブ：**インターレースのビデオ信号をプログレッシブに変換して再生します。 ・**切：**インターレースの信号をそのまま変換しないで再生します。	フィルム
黒補正	明暗のはっきりしたメリハリのある画質になります。 映像ソースに合わせて設定します。 ・**強：**強い黒補正。 ・**弱：**弱い黒補正。 ・**切：**黒補正なし。	切
ガンマモード	ガンマ補正曲線を選びます。 ・**グラフィックス：**中間調の再現性が高くなります。写真を自然な階調で再現します。 ・**テキスト：**白と黒の対比をはっきりさせます。文字の多い画像に適しています。	グラフィックス

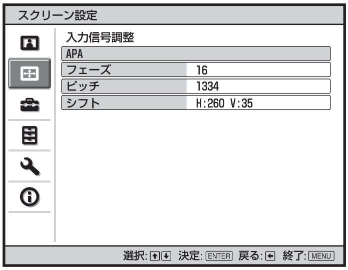
メニューで行う調整と設定

スクリーン設定メニュー

入力信号の設定を変更するメニューです。
画面のサイズやワイド切換えなどを調整できます。
メニューによっては、入力信号の種類により調整・設定できる項目が限られます。

◆詳しくは、「入力信号と調整・設定項目」（51 ページ）をご覧ください。





設定項目	機能	初期設定値
アスペクト（ビデオ信号入力時）	入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。ビデオ信号入力時（メモリーナンバー 1 ～ 15）の場合のみ設定可能です。 · **4：3：**4：3 の映像を入力しているときに選びます。 · **16：9：**スクイーズの映像を入力しているときに選びます。 · **ズーム（VPL-FE40/FX40/FX41）：**スクイーズ信号で両サイドが黒帯表示の場合に使用します。 · **ズーム（VPL-FW41）：**16：9 の映像を縦横同じ比率で拡大して映します。ただし、上下に黒帯表示が残ることがあります。 · **フル：**オリジナル映像を画面いっぱいに映します。	入力信号による

設定項目	機能	初期設定値
アスペクト（PC 信号入力時）	入力信号に対して、どのような縦横比の映像を投影するかを設定します。PC 信号入力時のみ（メモリーナンバー 21 〜 56）設定可能です。 ・**フル 1：**オリジナル映像の縦横比を変えずに縦または横いっぱいに映します。 ・**フル 2：**オリジナル映像を画面いっぱいに映します。 ・**ノーマル：**入力画素数を LCD の 1 ピクセルに合わせて表示します。画像は鮮明になりますが、画面に表示される画像は小さくなります。 ・**4：3：**アスペクト比を 4:3 にします。 ・**16：9：**アスペクト比を 16:9 にします。	入力信号による
オーバースキャン	映像の周囲を隠したいときに使います。 ・**入：**入力映像の周囲を隠します。映像の端にノイズなどが見えるような場合にはこちらに設定します。 ・**切：**入力映像を全て表示します。 ◆画面の上下左右の表示領域を調整するときは設置設定メニューの「ブランキング」（50 ページ）をご覧ください。	入
画面位置上下	映像全体を上下に移動させて調整します。数値を大きくすると画面が上に動き、小さくすると下に動きます。 **ご注意** VPL-FW41 で「アスペクト」を「ズーム」に設定した場合のみ調整可能です。	0
縦サイズ	映像を縦方向に拡大または縮小します。数値を大きくすると拡大され、小さくすると縮小されます。字幕付き映画などに表示されている字幕が見えない場合などに、「画面位置上下」と組み合わせて使用します。 **ご注意** VPL-FW41 で「アスペクト」を「ズーム」に設定した場合のみ調整可能です。	0

設定項目		機能	初期設定値
入力信号調整		入力信号を調整します。	
	APA(オートピクセルアライメント)	ENTER キーを押すと映像信号にあった位置にフェーズ、ピッチ、シフトを自動調整します。	入力信号による
	フェーズ	画素とコンピューター信号の位相を調整します。一番くっきり見える数値にします。	
	ピッチ	コンピューター信号入力時、画面の水平方向のサイズを調整します。数値が大きくなるとサイズが大きくなり、小さくなるとサイズが小さくなります。入力信号のドット数と同じ数値にあわせます。	
	シフト	画面の位置を調整します。 · **H（水平）：**数値が大きくなると画面が右に、小さくなると画面が左に移動します。←/→ ボタンを押して設定します。 · **V（垂直）：**数値が大きくなると画面が上に、小さくなると画面が下に移動します。↑/↓ ボタンを押して設定します。	

ご注意

- 営利目的、また公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、アスペクト機能などを利用して、面積の分割表示や圧縮、引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。
- 「アスペクト」は、入力信号により「アスペクト」の項目自体、あるいは一部の設定項目が表示されません。また、「フル 1」と「フル 2」、または「フル 1 」と「4 ：3」が同じ画像になることがあります。

プリセットメモリーナンバーについて

本機は、あらかじめ48種類 の映像データをプリセットしています（プリセットメモリー)。プリセットされた信号の入力時は、本機が入力信号を自動的に判別し、プリセットメモリー内のデータを呼び出し、最適な画面に調整します。入力信号のメモリーナンバーと信号種類は情報メニュー画面（51ページ）に表示されます。
プリセットされたデータをスクリーン設定メニューで調整することもできます。
また、プリセットメモリーとは別に、20個のユーザーメモリーがあり、プリセットされていない入力信号に対する設定を登録できます。プリセットされていない信号が初めて入力された場合は、メモリーナンバー0と表示され、スクリーン設定メニューで設定を変更した場合、本機に登録されます。登録数が20個を越えると、古いデータから順番に上書きされます。

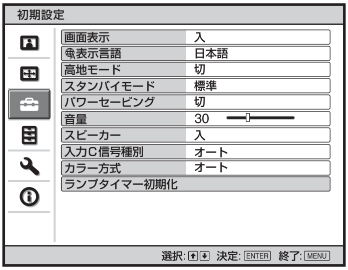
◆詳しくは、「プリセット信号一覧」（69ページ）をご覧ください。

ご注意

VPL-FE40/FX40/FX41では、アスペクト（縦横比）が「4：3」以外の場合、画面の一部が黒で表示されます。
また、VPL-FW41では、アスペクトが「フル」または「フル2」以外の場合、画面の一部が黒で表示される場合があります。

初期設定メニュー

初期設定を変更するメニューです。



設定項目	機能	初期設定値
画面表示	メニュー表示などの情報を投影画面に表示するかを設定します。 「切」に設定すると、メニューの表示、電源を切るときの確認メッセージ、警告メッセージ以外の画面表示が出なくなります。	入
表示言語	メニュー画面の表示言語を選択します。 「English」（英語）、「Nederlands」（オランダ語）、「Français」（フランス語）、「Italiano」（イタリア語）、「Deutsch」（ドイツ語）、「Español」（スペイン語）、「Português」（ポルトガル語）、「Pycckий」（ロシア語）、「Svenska」（スエーデン語）、「Norsk」（ノルウェー語）、「日本語」、「中文（简体字）」（中文簡体字）、「中文（繁體字）」（中文繁体字）、「한국어」（韓国語）、「ภาษาไทย」（タイ語）、「عربي」（アラビア語）から選べます。	English
高地モード	高地で使用の場合に設定します。 · **入**：1500m 以上の高地で使用の場合はこの位置に設定します。 · **切**：平地での使用の場合はこの位置に設定します。	切
スタンバイモード	スタンバイ時の消費電力を少なくします。 「低」に設定すると、スタンバイ時の消費電力を少なくすることができます。	標準

設定項目	機能	初期設定値
パワーセービング（節電モード）	パワーセービングを設定します。 「入」に設定し、プロジェクターに信号が入力されない状態が 10 分以上続くと節電モードになり、ON/STANDBY インジケーターがオレンジ色に点灯し画面が暗くなります。その後、信号が入力されたり、ボタンを押すと解除されます。節電モードにしないときは、「切」にします。	切
音量	音量を調節します。	30
スピーカー	スピーカーなどを接続していて、本体のスピーカーから音を出したくないとき「切」に設定します。 「切」に設定すると、電源を入れたとき「スピーカー：切」というメッセージが画面に表示されます。	入
入力 C 信号種別	INPUT C に入力される信号の種類を選択します。 INPUT ボタンで「入力 C」を選んで映す機器からの信号の種類を選びます。 ・**オート**：入力されている信号の種類を自動判別して設定します。 ・**コンピューター**：パソコンからの信号を入力するとき。 ・**ビデオ GBR**：ゲーム機、ハイビジョン放送などの信号を入力するとき。 ・**コンポーネント**：DVD プレーヤー／レコーダー、ブルーレイディスクプレーヤー（BD）、地上デジタル・BS・110 度 CS（CS1、CS2）・デジタル CS チューナーなどからのコンポーネント信号を入力するとき。	オート
カラー方式	ビデオ入力時のカラー信号方式を選択します。 ・**オート**：NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60 から自動判別します。 ・**NTSC3.58 ～ PAL-N**：強制的に指定されたカラーシステムに設定します。	オート
ランプタイマー初期化	光源用のランプ交換をしたときに、ランプタイマーを初期化します。	–

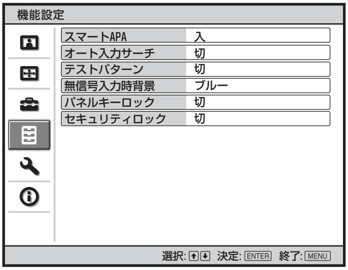
ご注意

・海抜 1500m 未満で高地モードを「入」に設定すると、ランプの信頼性に影響する恐れがあります。

・高地モードを「入」にした場合、ファンの回転数が上がり、音が少し大きくなります。
・スタンバイモードを「低」にした場合、スタンバイ状態ではネットワーク機能は使えません。
・入力 C 信号種別を「オート」に設定して、入力されている信号が正しく表示されない場合は、入力信号に合わせて設定してください。
・カラー方式の設定を通常は「オート」にしておくと、自動的に判別しますが、信号の状態が悪く、画が乱れたり色がつかない場合は、入力信号のカラー方式にあわせて選択してください。

機能設定メニュー

本機の機能の設定を変更するメニューです。



設定項目	機能	初期設定値
スマート APA	APA（Auto Pixel Alignment）とは、コンピュータ信号入力時に、画像をくっきり見えるように自動調整する機能です。スクリーン設定メニューの「フェーズ」、「ピッチ」、「シフト」の 3 つの項目を自動で調整します。 ・**入**：コンピューター信号が入力されると自動的に APA の機能が働き画像がくっきり見えるように自動調整が始まります。「入」に設定されているときでも、リモートコマンダーの APA キーを押して調整することができます。 ・**切**：リモートコマンダーの APA キーを押したときのみ調整が始まります。	入
オート入力サーチ	INPUT キーを押したとき、入力信号のある入力端子に自動で切り換えます。 「入」に設定すると、INPUT キーが押されたときに、入力 A、入力 B、入力 C、入力 D、入力 E、ビデオ、S ビデオの順に入力信号の有無を検出し、入力信号のある入力端子を表示します。入力 E は常に信号有として表示されます。 入力信号のない入力端子を選択する場合や、手動で切り換える場合は「切」にします。	切

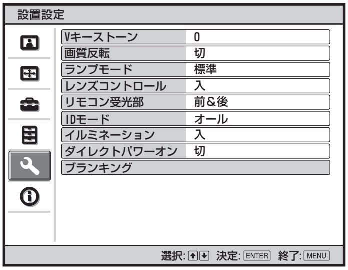
設定項目	機能	初期設定値
テストパターン	テストパターンを表示します。 「入」にすると、レンズのフォーカス、ズーム、シフト調整時およびVキーストーン調整時に、テストパターンが表示されます。表示したくないときは「切」にします。	切
無信号入力時背景	信号が入力されていないときの画面の色を選択できます。 「ブラック」または「ブルー」に設定できます。	ブルー
パネルキーロック	本体側面のコントロールパネルキーをすべてロックし、リモートコマンダーのみで操作するように制御できます。 コントロールパネルキーをロックしたいときは、「入」に設定します。 「入」に設定時、本体がスタンバイ状態でコントロールパネルの I/⏻ キーを約10秒押すと電源が入り、電源が入った状態で押すと、スタンバイ状態になります。 電源が入った状態でMENUキーを約10秒押すとロックが解除され、設定が「切」になります。	切
セキュリティロック	本機にセキュリティロックを設定します。「入」にし、パスワードを設定するとロックがかかります。 ◆詳しくは、「セキュリティロック」（31ページ）をご覧ください。	切

ご注意

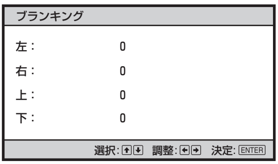
・APAキーは、スクリーンいっぱいに画像が映っているときに押してください。投影している画像の周辺領域に黒の部分が多く含まれていると、正しくAPA機能が働かず、画像の一部が表示されないことがあります。
・調整中にもう1度APAキーを押すと、調整が取り消され、元の状態に戻ります。
・信号によっては、正しく調整されないことがあります。
・画質を手動で調整するときは、スクリーン設定メニューの「フェーズ」、「ピッチ」、「シフト」の調整をしてください。

設置設定メニュー

本機の機能の設定を変更するメニューです。



設定項目	機能	初期設定値
V キーストーン	投影角度によって画像が台形になってしまった場合に補正します。 **画面の上辺より下辺が長い場合** マイナス方向に数値を設定する。 **画面の下辺より上辺が長い場合** プラス方向に数値を設定する。	0
画像反転	画像を水平または垂直方向に反転します。 天井つり設置やスクリーンの裏面投射設置するときなどに使用します。 ・**上下左右：**画像を水平、垂直方向に反転します。 ・**左右：**画像を水平方向に反転します。 ・**上下：**画像を垂直方向に反転します。 ・**切：**画像は反転しません。	切
ランプモード	投影時のランプの明るさを設定します。 ・**高：**画面が明るくなります。 ・**標準：**投影時のファン音が静かになり、消費電力を軽減します。画面は「高」に設定した場合よりも暗くなります。	標準
レンズコントロール	レンズ関連の調整（「フォーカス」、「ズーム」、「シフト」）を誤って変更しないようにします。 「入」に設定するとリモートコマンダーおよびコントロールパネルからレンズ関連の調整ができます。レンズ関連の調整を変更したくないときは「切」に設定します。「切」に設定すると、FOCUS、ZOOM、SHIFT キーが働かなくなります。	入

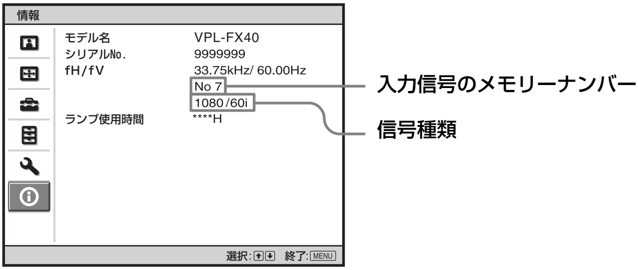
設定項目	機能	初期設定値
リモコン受光部	リモコンの効きが悪いとき、本体前面と後面にあるリモコン受光部を切り換えます。 ・**前＆後：**前面と後面のリモコン受光部を両方働かせるとき。 ・**前：**前面のリモコン受光部だけを働かせるとき。 ・**後：**後面のリモコン受光部だけを働かせるとき。	前＆後
ID モード	リモートコマンダーから特定のプロジェクターを制御したいとき、プロジェクターに ID 番号（1 ～ 3）を設定します。リモートコマンダーの ID 番号を 1 に設定すると、ID 番号「1」に設定したプロジェクターを制御できます。「オール」に設定すると、リモートコマンダーからリモートコマンダーの ID MODE キーに関係なく、プロジェクターを制御できます。	オール
イルミネーション	本体上面の SONY ロゴが通電時光っていますが、これを入／切します。	入
ダイレクトパワーオン	ブレーカーなどでシステム全体の電源の入切などを行う場合は、ダイレクトパワーオン機能を「入」にしてご使用ください。 スタンバイ状態を経ずに電源のオン／オフができます。	切
ブランキング	画面の上下左右の表示領域を調整します。 ブランキング調整画面で ↑/↓ キーでスクリーン端面「左 / 右 / 上 / 下」を選択します。←/→ キーでブランキング量を調整します。 	全て 0

ご注意

- V キーストーン機能は電子的な補正のため、画像が劣化する場合があります。
- レンズシフト調整の位置によっては、V キーストーン補正を行うとオリジナル画像のアスペクト比（縦横比）が維持できない、または画像に歪みが生じる場合があります。
- ブランキングと V キーストーンを同時に調整したとき、ブランキングが正しくかかりません。ブランキングを使用する際は、V キーストーンを「0」にしてください。
- ブランキングを使用すると表示領域が狭くなり、入力 E などで必要情報が表示されなくなる場合があります。ご注意ください。

情報メニュー

プロジェクターのモデル名、シリアル番号、投影時の画像の水平、垂直周波数やランプ使用時間などの情報を見ることができます。



設定項目	機能
モデル名	モデル名を表示する。
シリアル No.	シリアル番号を表示する。
fH（水平周波数）	水平周波数を表示する。
fV（垂直周波数）	垂直周波数を表示する。
メモリーナンバー	入力信号のプリセットメモリーナンバーを表示する。
信号種類	入力信号の解像度を表示する。
ランプ使用時間	ランプの使用時間を累積して表示する。

ご注意

- fH（水平周波数）と fV（垂直周波数）は、お使いの入力信号によっては表示されないことがあります。
- 上記の項目は変更できません。

入力信号と調整・設定項目

メニューによっては、入力信号の種類によって調整・設定できる項目が限られます。詳しくは、次の表をご覧ください。
調整･設定できない項目はメニューに表示されません。

画質設定メニュー

項目	入力信号				
	ビデオ / S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター	ネットワーク
画質モード	○	○	○	○	○
コントラスト	○	○	○	○	○
明るさ	○	○	○	○	○
色の濃さ	○ *1	○	○	×	×
色合い	○ *2	○	○	×	×
色温度	○	○	○	○	○
シャープネス	○	○	○	×	×
DDE	○	○ *4	○ *4	×	×
黒補正	○	○	○	×	×
ガンマモード	×	×	○ *3	○	○

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目

*1：白黒を除く

*2：NTSC3.58、NTSC4.43 のみ、白黒を除く

*3：プリセットメモリーナンバー 3、4 のみ

*4：プリセットメモリーナンバー 3、4、7、8 のみ

スクリーン設定メニュー

項目	入力信号				
	ビデオ / S ビデオ	コンポーネント	ビデオ GBR	コンピューター	ネットワーク
アスペクト	○	○	○	○	×
オーバースキャン	×	○	○	×	×
画面位置上下	○ *5	○ *5	○ *5	×	×
縦サイズ	○ *5	○ *5	○ *5	×	×
入力信号調整					
APA	×	×	×	○ *6	×
フェーズ	×	×	×	○ *6	×
ピッチ	×	×	×	○ *6	×
シフト	×	○	○	○	×

○：調整･設定できる項目　×：調整･設定できない項目

*5：VPL-FW41 でアスペクトを「ズーム」に設定しているときのみ調整可能

*6：HDMI 入力を除く

ランプを交換する

光源として使用されているランプは消耗品ですので、次のような場合は新しいランプと交換してください。

・光源のランプが切れたとき
・光源のランプが暗くなったとき
・「ランプを交換し、フィルターを掃除してください。」というメッセージが表示されたとき
・LAMP/COVER インジケーターが点滅したとき（3 回点滅パターンの繰り返し）

ランプ交換時期はその使用条件によって変わってきます。
交換ランプは、別売のプロジェクターランプ LMP-F270 をお使いください。それ以外のものをお使いになると故障の原因になります。

⚠警告

I/⏻ キーで電源を切った直後はランプが高温になっており、**さわるとやけどの原因**となることがあります。ランプを充分に冷やすため、**ランプ交換は、本機の電源を切ってから 1 時間以上**たってから行ってください。

⚠注意

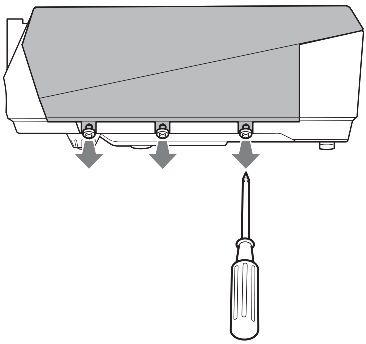
・ランプが破損している場合は、使い方相談窓口にご相談ください。
・ランプを取り出すときは、必ず取り出し用のノブをつまんで引き出してください。他の部分を持って引き出すと、けがややけどの原因となることがあります。
・ランプを取り出すときは、ランプを水平に取り出し、傾けないでください。ランプを傾けて持つと、万一ランプが破損した場合に、ランプの破片が飛び出し、けがの原因となることがあります。

1 本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。

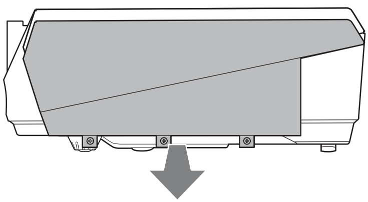
ご注意

本機を使用した後にランプを交換する場合は、ランプを冷やすため、1 時間以上たってからランプを交換してください。

2 ランプカバーのネジ（3 本）をプラスドライバーでゆるめる。



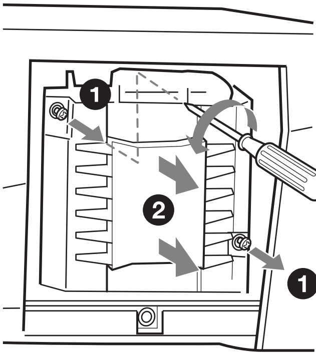
3 本機側面下のスリットに指をかけ、手前に引き上げランプカバーをはずす。



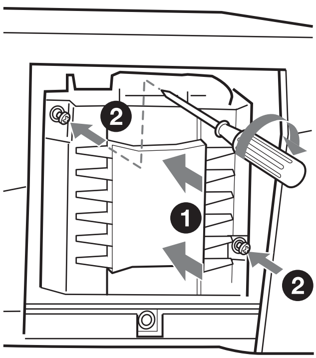
4 ランプのネジ（2 本）をプラスドライバーでゆるめ（❶）、取り出

お手入れ

し用ノブをつまんで（❷）ランプを引き出す。



5 新しいランプを確実に奥まで押し込み（❶）、ネジ（2 本）を締める（❷）。



ご注意

・ランプのガラス面には触れないようご注意ください。
・ランプが確実に装着されていないと、電源が入りません。

6 ランプカバーを元の位置にもどし、ネジ（3 本）をプラスドライバーで締める。

ご注意

ランプカバーはしっかりと取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。

7 電源コードを接続する。

ON/STANDBY インジケーターが赤色に点灯します。

8 I/⏻ キーを押して電源を入れる。

9 MENU キーを押して初期設定メニューを選ぶ。

10「ランプタイマー初期化」を選び、ENTER キーを押す。

メッセージが表示されます。

11「はい」を選び、ENTER キーを押す。

ランプタイマーが 0 に初期化され、「ランプタイマー初期化が完了しました」というメッセージが表示されます。

12「はい」を選ぶ。

⚠ 警告

ランプをはずした後のランプの収納部に金属類や燃えやすい物などの異物を入れないでください。**火災や感電の原因**となります。また、**やけどの危険**がありますので手を入れないでください。

ご注意

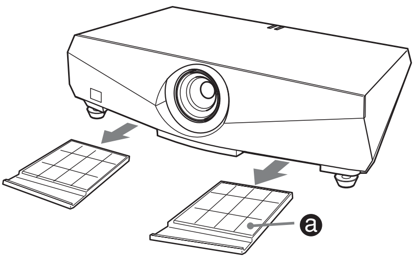
メッセージを消す場合は、リモートコマンダーまたはコントロールパネルのいずれかのキーを押してください。

エアーフィルターをクリーニングする

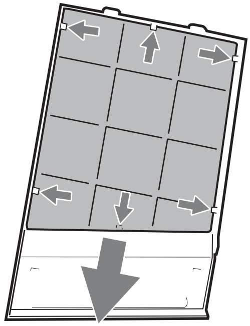
ランプ交換と合わせてエアーフィルターのクリーニングが必要です。エアーフィルターを取りはずし、掃除機で掃除してください。
クリーニング時期は目安です。使用環境や使い方によって異なります。

1 **電源を切り、電源コードを抜く。**

2 **エアーフィルターカバーを手前に引き出し取りはずす。**
VPL-FX41/FW41のエアフィルターは片側ⓐのみです。



3 **エアーフィルターをエアーフィルターカバーのつめ（6ヶ所）から外す。**



4 **掃除機でエアーフィルターを掃除する。**

5 **エアーフィルターをエアーフィルターカバーのつめ（6ヶ所）にはめて、エアーフィルターカバーを本機に取り付ける。**

⚠注意

エアーフィルターのクリーニングを怠ると、ゴミがたまり、内部に熱がこもって、故障・火災の原因となることがあります。

ご注意

・フィルターを掃除機で掃除しても汚れが落ちないときは、新しいフィルターに交換してください。新しいフィルターについては、お買い上げ店、または使い方相談窓口にご依頼ください。
・エアーフィルターカバーはしっかり取り付けてください。きちんと取り付けられていないと、電源が入りません。
・エアーフィルターには表裏があります。フィルターを入れるときは、フィル

お手入れ

ターカバーの形に合わせて枠が見えるように入れてください。
・メッセージを消す場合は、リモートコマンダーキー、または、コントロールパネルキーのいずれかのキーを押してください。

故障かな？と思ったら

修理に出す前に、もう1度次の点検をしてください。以下の対処を行っても直らない場合は、使い方相談窓口にお問い合わせください。

電源に関する項目

症状	原因と対処
電源が入らない。	・I/⏻ キーで電源を切った後すぐに電源を入れた。 ➔約60秒たってから電源を入れてください。（28ページ） ・ランプカバーがはずれている。 ➔ランプカバーをしっかりとはめてください。（53ページ） ・エアーフィルターカバーがはずれている。 ➔エアーフィルターカバーをしっかりとはめてください。（55ページ）

映像に関する項目

症状	原因と対処
映像が映らない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。（23ページ） ・接続手順が正しくない。 ➔本機はDDC2B（Display Data Channel 2B）に対応しています。お使いのコンピューターがDDCに対応している場合は、**1.** 本機とコンピューターを接続し、**2.** 本機の電源を入れ、**3.** コンピューターを起動してください。 ・入力切り換えが正しくない。 ➔INPUTキーで正しく選んでください。（27ページ） ・映像が消画（ミューティング）されている。 ➔PIC MUTINGキーを押して、ミューティングを解除してください。（20ページ） ・出力信号がコンピューターの外部モニターに出力されるように設定されていない。あるいは外部モニターとコンピューターの液晶ディスプレイの両方に出力するように設定されている。 ➔出力信号をコンピューターの外部モニターのみに出力するように設定してください。（23ページ）
画面にノイズが出る。	・入力信号のドット数とLCDパネルの画素数の関係により、特定の画面の背景にノイズが出ることがある。 ➔お使いの機器のデスクトップパターンを変えてください。 ・もともとジッターなどがでているビデオ信号を入力した。 ➔TBC（タイムベースコレクター）を使用してください。

症状	原因と対処
INPUT C 端子から入力している映像の色がおかしい。	初期設定メニューの「入力 C 信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 C 信号種別」で「コンピューター」、「ビデオ GBR」、「コンポーネント」信号の設定を正しく合わせてください。（45 ページ）
INPUT C 端子から正しく信号を入力しているのに「入力 C 信号種別の設定を確認してください。」というメッセージが表示される。	初期設定メニューの「入力 C 信号種別」の設定が入力信号と合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「入力 C 信号種別」で「コンピューター」、「ビデオ GBR」、「コンポーネント」信号の設定を正しく合わせてください。（45 ページ）
画面表示が出ない。	初期設定メニューの「画面表示」が「切」に設定されている。 ➔「画面表示」の設定を「入」にしてください。（44 ページ）
色がおかしい。	・画質の調整をしていない。 ➔画質設定メニューで画質の調整をしてください。（38 ページ） ・入力信号のカラー方式が合っていない。 ➔入力信号に合わせて初期設定メニューの「カラー方式」で正しく設定してください。（45 ページ）
画面が暗い。	・コントラスト、明るさの設定が正しくない。 ➔画質設定メニューで正しく設定してください。（38 ページ） ・ランプが消耗している。 ➔ランプを交換してください。（53 ページ）
画面がぼやける。	・フォーカスが合っていない。 ➔フォーカスを合わせてください。（28 ページ） ・結露が生じた。 ➔電源を入れたまま約 2 時間そのままにしておいてください。
画像がスクリーンからはみでている。	画像のまわりに黒い部分が残っている状態で APA キーを押した。 ➔スクリーンいっぱいに画像を映してから APA キーを押してください。 ➔スクリーン設定メニューの「シフト」で正しく調整してください。（42 ページ）
画面がちらつく。	スクリーン設定メニューの「フェーズ」の設定が合っていない。 ➔スクリーン設定メニューの「フェーズ」の数値を設定しなおしてください。（42 ページ）

音声に関する項目

症状	原因と対処
音が出ない。	・ケーブルがはずれている。または正しく接続されていない。 ➔接続を確認してください。(23 ページ) ・正しいケーブルで接続されていない。 ➔抵抗なしのステレオオーディオ接続ケーブルをお使いください。(23 ページ) ・音声が消音（ミューティング）されている。 ➔AUDIO MUTING キーを押して、ミューティングを解除してください。(20 ページ) ・音量が正しく調整されてない。 ➔リモートコマンダーのVOLUME＋/－キーまたはメニュー画面（45 ページ）で正しく調整してください。 ・スピーカーが「切」になっている。 ➔初期設定メニューの「スピーカー」を「入」に設定してください。」(45 ページ)

リモートコマンダーに関する項目

症状	原因と対処
リモートコマンダーが機能しない。	・電池の交換時期がきた。 ➔新しい電池と交換してください。(21 ページ) ・COMMAND ON/OFF 切り換えスイッチが OFF になっている。 ➔ON にする。 ・設置設定メニューの「ID モード」で設定したプロジェクターの ID 番号とリモートコマンダーの ID MODE キーの ID 番号が違っている。 ➔同じ ID 番号、または設置設定メニューの「ID モード」を「オール」に設定してください。

その他に関する項目

症状	原因と対処
本体のコントロールパネルキーが操作できない。	コントロールパネルキーがロックされている。 ➔キーロックを解除してください。(48 ページ)

その他

症状	原因と対処
ファンの音が気になる。	➔高地モードを確認する。（44 ページ） ➔吸気口、排気口がふさがれていないか確認する。 ➔室温が高くないか確認する。 部品の信頼性のため、常温より室温が高くなるとファンの回転数が上がり、ファンの音が大きくなります。常温の目安は 25 ℃です。
画面に残像が現れる。	➔画面の同じ位置にコントラストの強い静止画を表示し続けると、一時的な残像が現れることがあります。画像を切り換えてしばらくすると残像は自然に消えます。

インジケーターに関する項目

症状	原因と対処
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。（2 回点滅パターンの繰り返し）	・ランプカバーまたはエアーフィルターカバーがはずれている。 ➔カバーをしっかりはめてください。（53、55 ページ）
LAMP/COVER インジケーターがオレンジ色点滅する。（3 回点滅パターンの繰り返し）	・ランプの交換時期がきた。 ➔ランプを交換してください。（53 ページ） ・ランプが高温になっている。 ➔60 秒以上たって、ランプが冷えてから、もう一度電源を入れてください。
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。（2 回点滅パターンの繰り返し）	・内部が高温になっている。 ➔排気口、吸気口がふさがれていないか確認してください。 ・標高が高い場所で使用されている。 ➔高地モードが「入」に設定されているか確認してください。（44 ページ）
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。（4 回点滅パターンの繰り返し）	ファンが故障している。 ➔お買い上げ店にご相談ください。
ON/STANDBY インジケーターが赤色点滅する。（6 回点滅パターンの繰り返し）	電源コードを抜いて、ON/STANDBY インジケーターが消えるのを確認してから、電源コードをコンセントに差し込み、もう一度電源を入れる。症状が再発する場合は、電気系統が故障している。 ➔お買い上げ店にご相談ください。

メッセージ一覧

警告メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
セット内部温度が高いです。1 分後にランプオフします。	内部の温度が高くなった。 →電源を切ってください。 →排気口、吸気口をふさいでいないかどうか確認してください。
入力信号の周波数が対応範囲をこえています！	・対応範囲を越えた周波数の信号が入力された。 ・接続するコンピューターの外部モニターの出力信号の設定が高い。 →対応範囲内の信号を入力してください。
入力 C 信号種別の設定を確認してください。	初期設定メニューの「入力 C 信号種別」が「コンポーネント」に設定されているのに、コンピューターから RGB 信号を入力した。 →「入力 C 信号種別」を正しく設定してください。（45 ページ）
ランプを交換し、フィルターを掃除してください	・ランプの交換およびフィルター掃除の時期が来た。 →ランプを交換してください。（53 ページ） →フィルターを掃除してください。（55 ページ） ・ランプ交換後も表示される場合は作業が完了されていない。 →54 ページの手順 8 ～ 11 を行ってください。 **ご注意** メッセージを消す場合は、リモートコマンダーキー、または、コントロールパネルキーのいずれかのキーを押してください。
本機内部の温度が高くなっていますので、高地モードを入に切り替えます。高地でご使用の際は高地モードは入でお使いください。	→本機の通風孔が塞がっていないか確認する。（15 ページ） →高地で使用しているときは、高地モードを「入」にする。（44 ページ） **ご注意** 機内部温度が下がらないと、1 分後に高地モードが「入」に切り換わり、ファンの回転数が上がります。

注意メッセージ

以下のメッセージが画面に出ます。メッセージの意味を以下の表で確認してください。

メッセージ	意味と対処
無効キーが押されました！	操作が正しくない。 ➔正しいキーを押してください。
パネルキーロック中です！	初期設定メニューの「パネルキーロック」が「入」に設定されている。 ➔コントロールパネルのキーは全てロックされています。 リモートコマンダーで操作してください。（48 ページ）

保証書とアフターサービス

保証書

・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを → この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは → お買い上げ店にご相談ください。

保証期間中の修理は → 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
ただし、本機には消耗部品が含まれております。保証期間中でも長時間使用による消耗部品の交換は、有料になる場合があります。

保証期間経過後の修理は → 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

仕様

光学系

投影方式　3LCD パネル、1 レンズ、3 原色液晶シャッター投写方式

LCD パネル　VPL-FE40：0.79 型（20.1 mm）SXGA+ パネル、441 万画素（1400 × 1050 × 3）
VPL-FX40/FX41：0.79 型（20.1 mm）XGA パネル、約 236 万画素（1024 × 768 × 3）
VPL-FW41：0.75 型（19.1 mm）WXGA パネル、約 307 万画素（1280 × 800 × 3）

レンズ　1.3 倍ズームレンズ（電動）
f 30.6 ～ 39.7 mm
F1.66 ～ 2.18
* VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L は、レンズ別売

ランプ　275 W 高圧水銀ランプ

投影画面サイズ
40 ～ 600 型（1,016 ～ 15,240 mm）（VPLL-1008 使用時は 60 ～ 300 型（1,524 ～ 7,620 mm））

光出力　VPL-FE40/FX40：4000 lm[1)]
VPL-FX41：5200 lm[1)]
VPL-FW41：4500 lm[1)]
（ランプモード高のとき）

1) 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911：2003 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。
測定方法、測定条件については附属書 2 に基づいています。

その他

投影距離（床置き）

VPL-FE40/FX40/FX41：
（VPL-FE40 は SXGA+ 入力時、VPL-FX40/FX41 は XGA 入力時）

スクリーンサイズ		距離（m）
型	mm	
40	1,016	1.5 ～ 1.9
60	1,524	2.3 ～ 2.9
80	2,032	3.0 ～ 3.9
100	2,540	3.8 ～ 4.8
120	3,048	4.6 ～ 5.8
150	3,810	5.7 ～ 7.3
200	5,080	7.7 ～ 9.7
300	7,620	11.6 ～ 14.6
400	10,160	15.4 ～ 19.5
500	12,700	19.3 ～ 24.4
600	15,240	23.2 ～ 29.4

（設計値のため多少の誤差あり）

VPL-FW41：
（スクリーン設定メニューの「アスペクト」が「フル 2」または「フル」のとき）

スクリーンサイズ		距離（m）
型	mm	
40	1,016	1.6 ～ 2.0
60	1,524	2.4 ～ 3.0
80	2,032	3.2 ～ 4.1
100	2,540	4.0 ～ 5.1
120	3,048	4.8 ～ 6.1
150	3,810	6.0 ～ 7.7
200	5,080	8.1 ～ 10.2
300	7,620	12.1 ～ 15.4
400	10,160	16.2 ～ 20.5
500	12,700	20.2 ～ 25.7
600	15,240	24.3 ～ 30.8

（設計値のため多少の誤差あり）

電気系

カラー方式　NTSC3.58、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL-M、PAL-N、PAL60 自動切り換え／手動切り換え
（NTSC4.43 とは、NTSC 方式で録画されたビデオカセットを、NTSC4.43 方式のビデオデッキで再生したときのカラー方式です。）

解像度　VPL-FE40：水平解像度 750 TV 本（ビデオ入力時）
1,400 × 1,050 ドット（RGB 入力時）
VPL-FX40/FX41：水平解像度 750TV 本（ビデオ入力時）
1,024 × 768 ドット（RGB 入力時）
VPL-FW41：水平解像度 750TV 本（ビデオ入力時）
1,280 × 800 ドット（RGB 入力時）

対応コンピューター信号[1)]
fH: 19 ～ 92 kHz、fV: 48 ～ 92 Hz
（最高入力解像度信号：UXGA 1600 × 1200 fV：60Hz）

[1)] 接続するコンピューターの信号の解像度と周波数は、プリセット信号の範囲内に設定してください。

対応ビデオ信号
15k RGB ／コンポーネント 50/60Hz、プログレッシブコンポーネント 50/60Hz、DTV（480/60i、575/50i、480/60p、575/50p、720/60p、720/50p、1080/60i、1080/50i、1080/60p、1080/

50p)、コンポジットビデオ、Y/C ビデオ

スピーカー　ステレオスピーカーシステム 40 × 70 mm

スピーカー出力
1.8 W × 2

入出力

VIDEO IN（ビデオ入力）
VIDEO：ピンジャック
コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
S VIDEO：Y/C、ミニ DIN4 ピン
Y（輝度）信号：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）
C（クロマ）信号：
バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB（NTSC）（75Ω 終端）
バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）（75Ω 終端）
AUDIO：ピンジャック× 2、定格入力 500mVrms、入力インピーダンス 47kΩ 以上

INPUT A（入力 A）/ INPUT B（入力 B）：
アナログ RGB：HD D-sub 15 ピン、凹
R：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
B：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
HD：水平同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性
VD：垂直同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性
AUDIO: ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上

INPUT C（入力 C）：
アナログ RGB/ コンポーネント：5BNC、凹
R/R-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
G：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
同期付 G/Y：1 Vp-p ± 2 dB 同期負（75Ω 終端）（コンピューター信号を除く）
B/B-Y：0.7 Vp-p ± 2 dB（75Ω 終端）
HD：水平同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性
VD：垂直同期入力：TTL レベル、ハイインピーダンス、正負極性
AUDIO：ステレオミニジャック、定格入力 500 mVrms、入力インピーダンス 47 kΩ 以上

INPUT D（入力 D）：
デジタル RGB/Y C_B (P_B) C_R (P_R)：HDMI

INPUT E（入力 E）：
NETWORK：RJ45：10BASE-T/100 BASE-TX

OUTPUT：　MONITOR OUT：HD-D-sub 15 ピン、凹
R、G、B：Gain Unity：75Ω
HD、VD：4 Vp-p（オープン）、1 Vp-p（75Ω）

AUDIO OUT（出力可変）：
ステレオミニジャック
1 Vrms（ボリューム最大、500 mVrms 入力時）、出力インピーダンス 5 kΩ

REMOTE： RS-232C：D-sub 9 ピン

CONTROL S IN/PLUG IN POWER：
ステレオミニジャック

一般

外形寸法	532 × 145 × 352 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部含まず）
質量	約 9.8 kg（VPL-FE40/FX40/FX41/FW41） 約 9.0 kg（VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L）
電源	AC100 V、4.1 A、50/60 Hz
消費電力	最大 400 W スタンバイ時（標準）：15 W スタンバイ時（低）：0.5 W
発熱量	1365 BTU
動作温度	0 ℃ ～ + 35 ℃
動作湿度	35 % ～ 85 %（結露しないこと）
保存温度	－ 20 ℃ ～ + 60 ℃
保存湿度	10 % ～ 90 %
付属品	リモートコマンダー（1） 単 3 形乾電池（2） レンズキャップ（1）（VPL-FE40/FX40/FX41/FW41） レンズホールカバー（1）（VPL-FE40L/FX40L/FX41L/FW41L） 電源コード（1） CD-ROM（取扱説明書、アプリケーションソフトウェア）（1） 簡易説明書（1） 安全のために（1） 保証書（1） セキュリティラベル（1）

本機（別売アクセサリーを含む）の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ご注意

お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

別売アクセサリー

プロジェクターランプ LMP-F270（交換用）

プロジェクターサスペンションサポート
PSS-610

プレゼンテーションツール
RM-PJPK1

プロジェクションレンズ
短焦点固定レンズ VPLL-1008
（リア投影（打ち込み角 0°）用）
F=2.0
f=13.1 mm
マニュアルフォーカス
投影画面サイズ
60 ～ 300 型（1,524 ～ 7,620 mm）
投影距離
VPL-FE40/FX40/FX41：
100 型（2,540 mm）：1590 mm
200 型（5,080 mm）：3250 mm
300 型（7,620 mm）：4910 mm

VPL-FW41：
100 型（2,540 mm）：1670 mm
200 型（5,080 mm）：3420 mm
300 型（7,620 mm）：5160 mm
最大外形寸法
130 × 130 × 242 mm（幅 ×高さ×奥行き）
質量
1500 g

短焦点ズームレンズ VPLL-Z1014
F=2.0 ～ 2.8
f=22.8 ～ 31.4 mm
電動フォーカス／ズーム
投影画面サイズ
40 ～ 600 型（1,016 ～ 15,240 mm）
投影距離
VPL-FE40/FX40/FX41：
100 型（2,540 mm）：2850 ～ 3830 mm
200 型（5,080 mm）：5760 ～ 7710 mm
300 型（7,620 mm）：8670 ～ 11600 mm
VPL-FW41：
100 型（2,540 mm）：3000 ～ 4020 mm
200 型（5,080 mm）：6050 ～ 8100 mm
300 型（7,620 mm）：9100 ～ 12180 mm
最大外形寸法
102 × 102 × 192 mm（幅×高さ×奥行き）
質量
1330 g

中焦点ズームレンズ VPLL-Z1024
F=2.0 ～ 2.3
f=37.8 ～ 54.3 mm
電動フォーカス／ズーム
投影画面サイズ
40 ～ 600 型（1,016 ～ 15,240 mm）
投影距離
VPL-FE40/FX40/FX41
100 型（2,540 mm）：4840 ～ 6630 mm
200 型（5,080 mm）：9770 ～ 13350 mm
300 型（7,620 mm）：14700 ～ 20060 mm
VPL-FW41：
100 型（2,540 mm）：5080 ～ 6960 mm
200 型（5,080 mm）：10260 ～ 14010 mm
300 型（7,620 mm）：15440 ～ 21070 mm
最大外形寸法
97 × 87 × 180 mm（幅×高さ×奥行き）
質量
1140 g

長焦点ズームレンズ VPLL-Z1032
F=2.0 ～ 2.4
f=52.6 ～ 84.2 mm
電動フォーカス／ズーム
投影画面サイズ
40 ～ 600 型（1,016 ～ 15,240 mm）
投影距離
VPL-FE40/FX40/FX41：
100 型（2,540 mm）：6580 ～ 10060 mm
200 型（5,080 mm）：13310

～ 20240 mm
300 型（7,620 mm）：20040 ～ 30430 mm

VPL-FW41：
100 型（2,540 mm）：6910 ～ 10560 mm
200 型（5,080 mm）：13980 ～ 21250 mm
300 型（7,620 mm）：21040 ～ 31950 mm

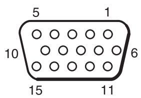
最大外形寸法
97 × 87 × 177 mm（幅×高さ×奥行き）

質量
1140 g

別売アクセサリーの中には、国・地域によって販売されていないものがあります。ソニーの相談窓口に確認してください。

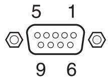
ピン配列

INPUT A、B
RGB 端子（HD D-sub 15 ピン、凹）



1	映像入力（赤）R	9	DDC 用電源入力
2	映像入力（緑）G	10	接地
3	映像入力（青）B	11	接地
4	接地	12	DDC/SDA
5	接地	13	水平同期信号
6	接地（赤用）	14	垂直同期信号
7	接地（緑用）	15	DDC/SCL
8	接地（青用）		

REMOTE
RS-232C 端子（D-sub 9 ピン、凹）



1	NC	6	NC
2	RXDA	7	RTS
3	TXDA	8	CTS
4	DTR	9	NC
5	GND		

プリセット信号一覧

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	アナログ信号	デジタル信号
1	ビデオ /60 Hz	ビデオ /60 Hz	15.734	59.940	–	○	×
2	ビデオ /50 Hz	ビデオ /50 Hz	15.625	50.000	–	○	×
3	480/60i	DTV 480/60i	15.734	59.940	S on G/Y	○	○
4	575/50i	DTV 575/50i	15.625	50.000	S on G/Y	○	○
5	480/60p	480/60p (倍速 NTSC)	31.470	60.000	S on G/Y	○	○
6	575/50p	575/50p (倍速 PAL)	31.250	50.000	S on G/Y	○	○
7	1080/60i	1035/60i, 1080/60i	33.750	60.000	S on G/Y	○	○
8	1080/50i	1080/50i	28.130	50.000	S on G/Y	○	○
10	720/60p	720/60p	45.000	60.000	S on G/Y	○	○
11	720/50p	720/50p	37.500	50.000	S on G/Y	○	○
12	1080/60p	1080/60p	67.500	60.000	S on G/Y	×	○
13	1080/50p	1080/50p	56.260	50.000	S on G/Y	×	○
21	640 × 350	VGA モード 1 (VGA 350)	31.469	70.086	H- 正 V- 負	○	×
22		VESA 85 (VGA 350)	37.861	85.080	H- 正 V- 負	○	×
23	640 × 400	NEC PC 98	24.823	56.416	H- 負 V- 負	○	×
24		VGA モード 2 (TEXT)/ VESA70	31.469	70.086	H- 負 V- 正	○	×
25		VESA 85 (VGA 400)	37.861	85.080	H- 負 V- 正	○	×
26	640 × 480	VESA 60	31.469	59.940	H- 負 V- 負	○	○
27		Mac 13	35.000	66.667	H- 負 V- 負	○	×
28		VESA 72	37.861	72.809	H- 負 V- 負	○	×
29		VESA 75 (IBM M3)	37.500	75.000	H- 負 V- 負	○	×
30		VESA 85 (IBM M4)	43.269	85.008	H- 負 V- 負	○	×
31	800 × 600	VESA 56	35.156	56.250	H- 正 V- 正	○	×
32		VESA 60	37.879	60.317	H- 正 V- 正	○	○
33		VESA 72	48.077	72.188	H- 正 V- 正	○	×
34	800 × 600	VESA 75 (IBM M5)	46.875	75.000	H- 正 V- 正	○	×
35		VESA 85	53.674	85.061	H- 正 V- 正	○	×

メモリーナンバー	プリセット信号		fH (kHz)	fV (Hz)	同期	アナログ信号	デジタル信号
36	832 × 624	Mac 16	49.724	74.550	H- 負 V- 負	○	○
37	1024 × 768	VESA 60	48.363	60.004	H- 負 V- 負	○	○
38		VESA 70	56.476	70.069	H- 負 V- 負	○	×
39		VESA 75	60.023	75.029	H- 正 V- 正	○	×
40		VESA 85	68.677	84.997	H- 正 V- 正	○	×
45	1280 × 960	VESA 60	60.000	60.000	H- 正 V- 正	○	○
46		VESA 75	75.000	75.000	H- 正 V- 正	○	×
47	1280 × 1024	VESA 60	63.974	60.013	H- 正 V- 正	○	○
48		VESA 75	79.976	75.025	H- 正 V- 正	○	×
49		VESA 85	91.146	85.024	H- 正 V- 正	○	×
50	1400 × 1050	VESA 60	65.317	59.978	H- 負 V- 正	○	○
51	1600 × 1200	VESA 60	75.000	60.000	H- 正 V- 正	○	○
55	1280 × 768	1280 × 768/60	47.776	59.870	H- 負 V- 正	○	○
56	1280 × 720	1280 × 720/60	44.772	59.855	H- 負 V- 正	○	○
60	1360 × 768	1360 × 768/60	47.720	59.799	H- 負 V- 正	○	○
61	1440 × 900	1440 × 900/60	55.935	59.887	H- 負 V- 正	○	○
62	1680 × 1050	1680 × 1050/60	65.290	59.954	H- 負 V- 正	○	○
63	1280 × 800	1280 × 800/60	49.702	59.810	H- 負 V- 正	○	○

入力ごとの対応プリセットメモリーナンバーについて

アナログ信号

信号	プリセットメモリーナンバー
ビデオ信号（ビデオ、S ビデオ端子）	1、2
コンポーネント信号（INPUT C 端子）	3 ～ 8、10 ～ 11
ビデオ GBR 信号（INPUT C 端子）	3 ～ 8、10 ～ 11
コンピューター信号（INPUT A、INPUT B、INPUT C 端子）	21 ～ 40、45 ～ 51、55、56、60 ～ 63

デジタル信号

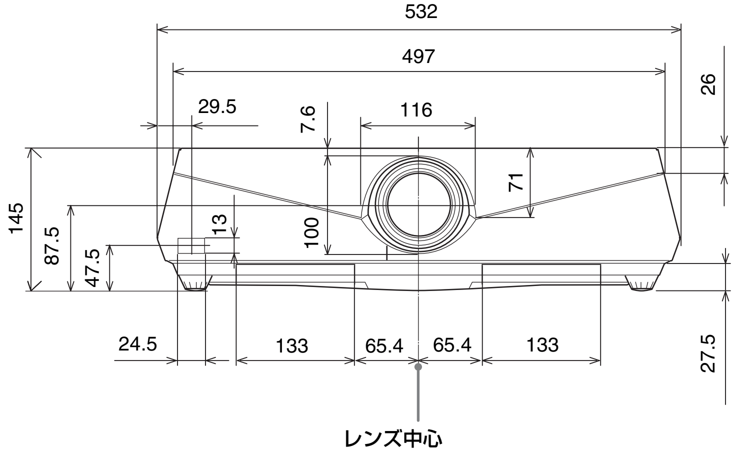
信号	プリセットメモリーナンバー
コンポーネント信号（INPUT D 端子）	3 ～ 8、10 ～ 13
ビデオ GBR 信号（INPUT D 端子）	3 ～ 8、10 ～ 13
コンピューター信号（INPUT D 端子）	26、32、36、37、45、47、50、51、55、56、60 ～ 63

ご注意

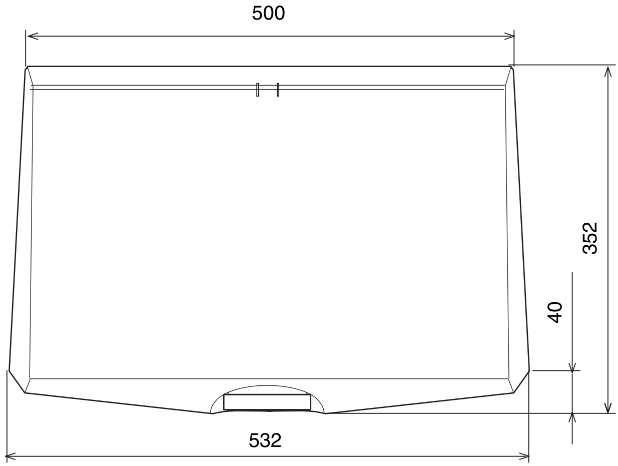
・上記記載のプリセット信号以外の信号を入力した場合、画像を正しく表示できないことがあります。
・パネル解像度と異なる入力信号では、入力信号そのままの解像度での表示はされず、文字や罫線の太さなどが不均一となる場合があります。

寸法図

前面

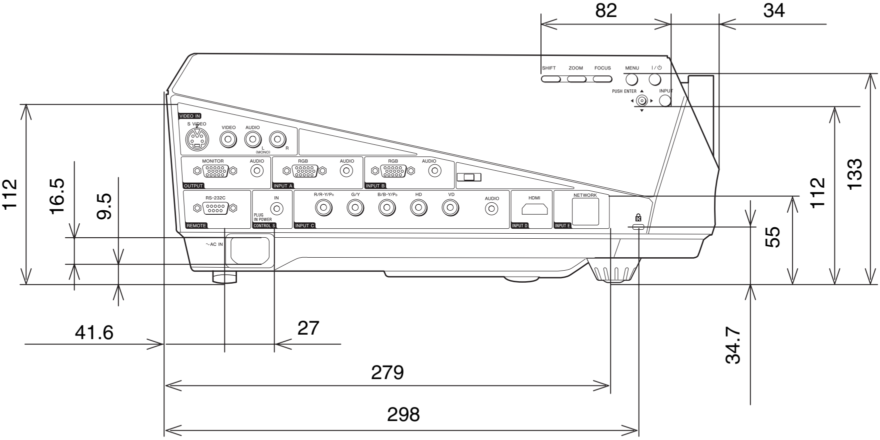


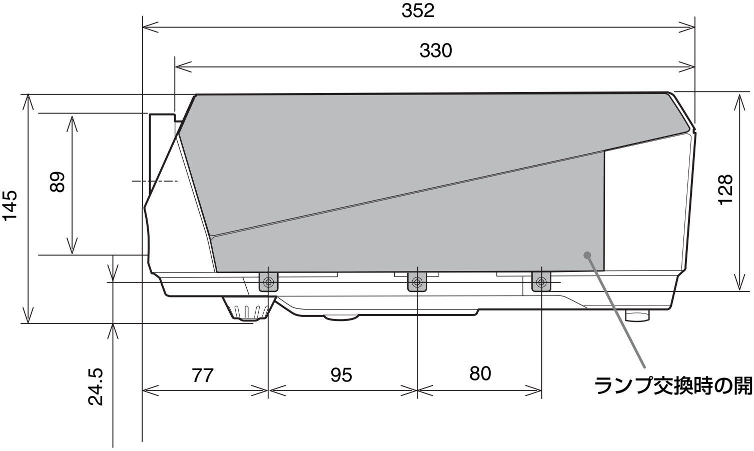
天面



単位：mm

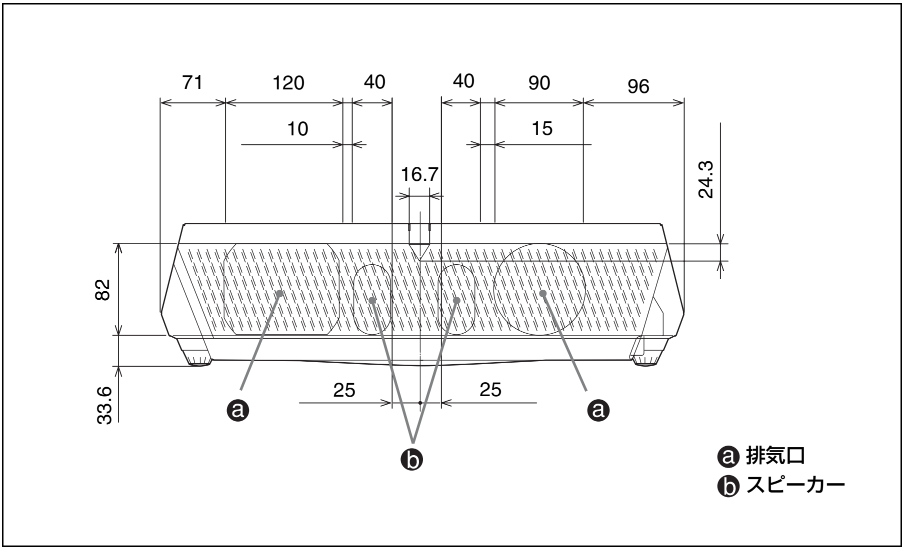
側面


82
34
SHIFT
ZOOM
FOCUS
MENU
PUSH ENTER
INPUT
VIDEO IN
S VIDEO
VIDEO
AUDIO
L
(MONO)
R
MONITOR
AUDIO
OUTPUT
RGB
AUDIO
INPUT A
RGB
AUDIO
INPUT B
RS-232C
REMOTE
IN
PLUG IN POWER
CONTROL S
R/R-Y/PR
G/Y
B/B-Y/PB
HD
VD
AUDIO
INPUT C
HDMI
INPUT D
NETWORK
INPUT E
~AC IN
112
16.5
9.5
41.6
27
279
298
112
133
55
34.7


352
330
145
89
24.5
128
77
95
80
ランプ交換時の開口部

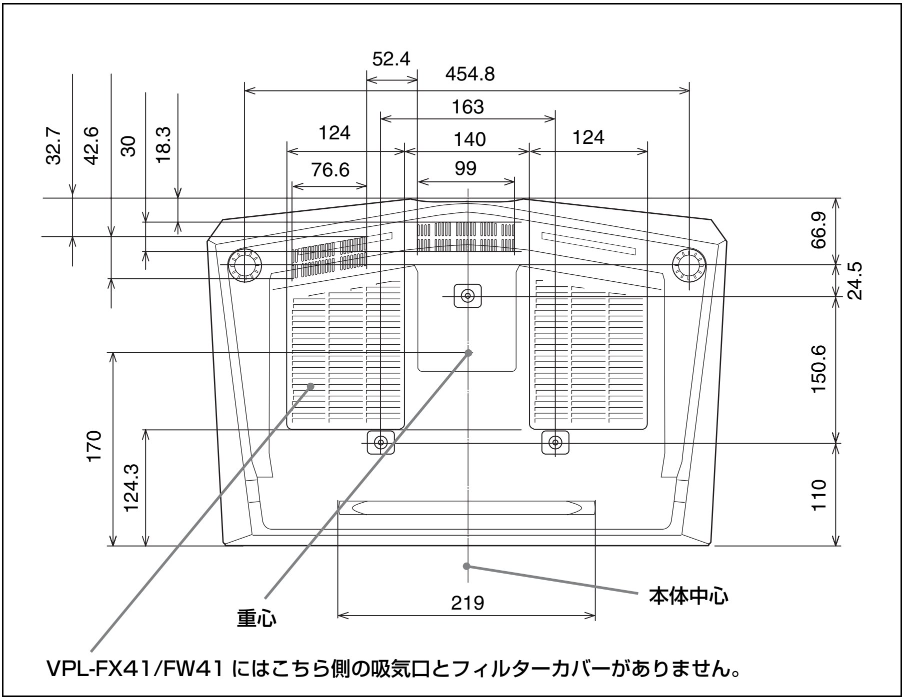
単位：mm

後面



71
120
40
40
90
96
10
15
16.7
24.3
82
33.6
25
25
a
a
b
a 排気口
b スピーカー

底面



52.4
454.8
163
124
140
124
76.6
99
32.7
42.6
30
18.3
66.9
24.5
150.6
110
170
124.3
219
重心
本体中心
VPL-FX41/FW41 にはこちら側の吸気口とフィルターカバーがありません。

単位：mm

索引

あ

「ID モード」 50
「明るさ」 38
「アスペクト」
　「ズーム」 40
　「ノーマル」 41
　「フル」 40
　「フル 1」 41
　「フル 2」 41
　「16　9」 40
　「4　3」 40
「イルミネーション」 50
「色あい」 39
「色温度」 39
「色の濃さ」 38
INPUT A 端子
　ピン配列 68
INPUT C 端子 18
INPUT D 端子 18
エアーフィルター 55
「fH（水平周波数）」 51
「fV（垂直周波数）」 51
「オート入力サーチ」 47
「オーバースキャン」 41
「音量」 45

か

各部の名前と働き
　コネクターパネル 17
　後面／側面／底面 14
　コントロールパネル 15
　天面／前面／側面 14
　リモートコマンダー 19
「コントラスト」 38
「画質モード」
　「スタンダード」 38
　「ダイナミック」 38
「画像反転」 49
画像を映す 26
「画面位置上下」 41
「画面表示」 44
「カラー方式」 45
「ガンマモード」 39
「黒補正」 39
結露 10
「高地モード」 44
故障かな？と思ったら 57
コンピューターを接続する 23

さ

「シャープネス」 39
仕様 63
使用上のご注意 10
スクリーンサイズ 22, 64
「スタンバイモード」 44
「スピーカー」 45
「スマート APA」 47
「セキュリティロック」 31, 48
設置
　使用に適さない状態 9

た

ダイレクトパワーオン 50
「縦サイズ」 41
調整
　画質の調整 38
　設定値の記憶 37
「DDE」 39
「テストパターン」 48
電池の入れかた 21

な

「入力 C 信号種別」 45
「入力信号調整」
　「APA」 42
　「シフト」 42
　「ピッチ」 42
　「フェーズ」 42

は

「パネルキーロック」 48
「パワーセービング」 45
ビデオ機器を接続する 25
「表示言語」 44
表示言語を切り換える 30
「標準に戻す」 38
ピン配列 68

「V キーストーン」 49
付属品 66
「ブランキング」 50
別売アクセサリー 66
保証書とアフターサービス 63

ま

「無信号入力時背景」 48
メッセージリスト
　警告メッセージ 61
　注意メッセージ 62
メニュー
　画質設定 38
　機能設定 47
　初期設定 44
　スクリーン設定 40
　設置設定 49
　情報 51
メニュー画面を消す 36
メニューの操作方法 35

ら

「ランプ使用時間」 51
「ランプタイマー初期化」 45
ランプの交換 53
「ランプモード」 49
リセット
　設定値をリセットする 36
リモートコマンダー
　各部の名前と働き 19
　電池の入れかた 21
「リモコン受光部」
　後部リモコン受光部 15, 50
　前面リモコン受光部 14, 50
「レンズコントロール」 49

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「203」＋「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/